

① 東部地域づくり懇談会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計 市で福祉バスを運行していると思うが、乗車人数が行きは10名くらい乗っているのを見ることが、帰りはあまり乗っていないように思います。統計はとっているのかお聞きたいです。また、以前はお山の湯があったので乗り降りする人もいたかと思いますが、特に帰りは空のバスが走っているように見えます。ただ、私としては午前に出たら午前に戻るようなバスがあるといいと思います。さらに、滝沢中央病院もあることから、病院を回るようなバスがあるといいと思います。	福祉バスの統計については、業者から毎月実績報告書が来ており、それをもとに支払いをしています。乗車人数について把握はしていますが、本日は昨年の実績資料など持参していないため詳細は分かりませんが1回当たりおおよそ10名程度が乗車しているようです。運行回数については検討させていただきたいと思います。病院間の運行計画については交通政策の分野も含まれると思いますので、担当部署に共有させていただきます。(勝田健康福祉部長)	高齢者支援課 都市政策課	市回答のとおり	
2	総計 何年前かに川前付近からある業者と運行状態を検証してバスを運行させる話があったかと思いますが、市にもその結果は共有されていましたが、事業にならず業者が撤退していたと聞きました。市内循環バスができると期待していたが、どうなったか分かりません。年を取ると足がないと安全安心はなく、高齢者にとっては不安があるので、市内循環バスを復活させてほしいです。	そのような声はたくさん頂いていましたが、実際にバスを走らせてみると乗る人がいなかったという実情がありました。しかし、今は都市部ではオンデマンド交通もあるようなので、市役所でも勉強していきたいです。睦大学に通われる方はバス利用の方もいるそうですが、自分の車で通われる方も多いと聞きます。様々な情報を集めて、本当に必要とする人に対応する政策を進めていきたいと考えます。(武田市長)	都市政策課	現在、市役所前の中心拠点商業地区の整備に合わせて市内各地域から中心拠点地域に向かうコミュニティバスなどの地域内交通について、利用者のニーズなどを把握したうえで検討する予定としております。	
3	総計 市では様々な情報発信をしているようですが、必要な人に届いていないのではないかと思います。バスの試験的な運行などそのようなことがあれば、自治会に感想をとったりするべきではないかと思うので、いろいろな声を拾ってほしいです。また、多様性の時代ですが、いろいろな立場の人の声も拾ってほしいです。病院に行くのに高いお金を払っている人もいますし、だんだんと病院まで行くことが大変な人も増えているので、そのような人の声も拾ってほしいです。	今は新しい団体も立ち上がり、マイヤのスローショッピングもあります。そういった中でいろいろな声を聞けるようにして、いろいろなサービスを始めたいばかりであります。そのような情報もしっかりと集めながら、どのような形で地域で活用できるのか検討し、皆様のお役に立てるようにしていきたいです。(武田市長)	高齢者支援課 都市政策課	【高齢者支援課】 市では、睦大学以外でもご利用になれる福祉バスを市内の地域から市役所まで運行しておりますので、ご活用ください。 【都市政策課】 市回答のとおり	
4	総計 高齢者の一人世帯が多くなっていると感じるので、支えあいや声掛け、もし気になる人がいたら行政への報告が必要だと感じます。高齢者が元気なことはいいことなので、月に1回介護教室をやっているそうですが、いろいろな自治会の様子を見て欲しいです。優しさやおもいやりにはそのようなことが大切なのではないかと思います。		地域包括支援センター	市内27か所で実施中のいきいきサロンで開催している介護予防教室では、地域包括支援センターから職員が出向き、健康相談や介護予防に関する講話を行っております。教室時の様子については担当者が報告を受け、気になる参加者や様子があれば適切な相談先へつなぐなどして対応していますので、ご心配なことがありましたらご相談ください。	
5	総計 市の大きいイベントは市役所方面で開催されるので、免許を返納したら市役所方面に行けません。巣子からバスに乗って市役所方面に行こうとすると、バスの乗り換えが発生しとても不便です。もっと道路を広くしてゆったりと運転できるようにするなど、コミュニティバスなどで交通面が便利になることが優しさにつながると思います。		都市政策課	過去に巣子地区から市役所方面へ路線バスを走らせましたが、利用者がいなく廃止した経緯があります。また、バス路線は需要と供給のバランスにより維持されていることから、全てを網羅することは困難であり、バスの乗換えが必要となることについてご理解とご協力をお願いします。 現在、市役所前の中心拠点商業地区の整備に合わせて市内各地域から中心拠点地域に向かうコミュニティバスなどの地域内交通について、利用者のニーズなどを把握したうえで検討する予定としております。	

6	総計	横断歩道がないばかりに子どもたちが横断歩道のあるところまでぐるっと迂回しなくては いけません、歩道が整備されていないのですごく危ないという声があります。子どもたちが 安心して学校に通うためにも重点的に整備してほしいです。		道路課 防災防犯課	【防災防犯課】 地域の要望等によって、関係機 関等と現地調査を実施しており ます。今後についても市民の安 全安心のため対応してまいり ます。 【道路課】 道路課では、菓子地区において 道路改良工事（歩道設置含む） を行っております。国からの補 助金等の関係もござりますが、 今後も事業進捗できるよう進め てまいります。	
7	総計	優しさは命を大事にすることだと思います。岩手には国立の大病院がなくそれは全国でも 岩手県だけと聞き、平等に医療行為を与えてもらっていないことだと思います。岩手県とし て国立の医科大学を誘致し、例えば滝沢には国立の広大な土地があるはずなので、その土地 を市民のために利用させてもらうよう働きかけてほしいです。 また、国立の医科大学がないと、医師を目指す優秀な学生が他県に行くため人材流出につな がり、他県から優秀な学生が来ることも少ないです。岩手県は県北など過疎地域が多く医療 の恩恵を受けていません。国立の医科大学を滝沢にある国立の土地に誘致すると、県北の人 も恩恵を受けられると思います。全国水準の平等な医療を受けられることは優しさだと思 います。		健康推進課	国立の大病院の誘致について 県への働きかけは現在考えてい ないところであります。市民の 皆さんが安心して暮らすことが できるよう、医療体制の構築に ついて、岩手県及び盛岡保健医 療圏の関係機関、地域の医師会 等と引き続き連携を図ってまい ります。	
8	総計	菓子保育園とローソンの間にある家に車イスの住民が住んでいます。その家の近道の道路は 土地改良区の土地で未舗装の砂利の道路になっていますが、よく使う道路です。しかし、街 灯もなく砂利が掘られており、雨の日には歩行者は歩けません。自治会長がわざわざ市役所 の道路課に行くも却下されたと聞きました。地域住民のためにもコンクリート舗装までは望 まないが、歩行者が通やすく、水がたまらないよう砂利をとれるようにしてほしいです。 土地改良区の土地かもしれませんが、平らにしてもらえると嬉しいです。		道路課	要望ありました道路は、市が管 理する道路ではないため、市が 道路を整備したり、補修するこ とはできませんので、道路所有 者に要望内容についてお伝えい たします。	
9	総計	私道を市に寄付しようとしたが却下され、何も手をかけてもらえず個人で砂利を引いている ようです。また、除雪も入らないため個人で頑張っているようだが、春になると轍が酷くて とても危ない状況です。やさしさという部分からすると、市から見捨てられたような気持ち になります。寄付を受けてもらえないのであれば、除雪だけでもしっかりして欲しいです。	前のお話も含めて具体的に場所を見せていただきながらどういった対応 になるのか検討したいです。しかし基本的には市が管理している道路を 基準に除雪しているのが現状です。私道については、道直し事業で市で も補助しながら、地元の方からお出しいただいて補助してい ます。この場では結論は出せないで、会長さんとお話ししてどうし ていくのか相談させて頂きたいです。（岡田副市長）	道路課	市道認定に必要な要件があり、 要件に満たない事項があれば改 善が必要となります。 私道除雪につきましては、私道 を市が除雪を行うことはできま せんので、私道除雪補助金の活 用についてご検討の程お願いし ます。この件につきまして、内 容等を後日確認させて頂ければ と思います。	
10	総計	働き方改革とあるが、市職員の土日勤務の決まりや活動の制限はありますか。子どもの頃に さまざまな活動した記憶がありますが、今はなかなかそういう活動がありません。相の沢自 然センターやネイチャーセンターなどではいろいろ活動ができると思うので、子どもたちに 体験学習をやりたいが、働き方改革がネックになります。自分たちではなかなか実現できな いこともあるので、こどもまんなか滝沢のためにも、子どもたちのために力添えが欲しいで す。		総務課	土日は週休日となっており、市 職員の土日勤務は時間外労働に 当たりますが、業務に制限は特 にありません。	

11	地域懇談	菓子保育園跡地の利用について令和3年に始まり、その年の自治会長研修でも話し合いましたが15分だけでした。昨年の市政懇談会でも話しましたが進んでいません。令和5年4月に取り壊しが始まり、すでに取り壊されましたが、今年の4月14日に児童福祉課と話したところ、壊すと今度は財務課の所管になる、都市計画の中に入っているとお話もありました。市としてどのように考えているのか、令和3年度から話していることなのかわかりたいです。	令和3年9月に協議の場を設けたいとの文書をいただき、それに合わせて10月6日に自治会長さんと前の健康福祉部長や関係部課等で話し合いをさせていただきましたが、その際に跡地については自治会からも庁内からも意向なしの状況のため、更地にして市に返すとして保育協会と契約があるのでそれに向けて事務を進めていると話をさせていただきました。現在は残土が少し残っていますが更地になっていて、保育協会から市に返す予定で財務課に所管替えていくという形で進んでいます。 (勝田健康福祉部長)	児童福祉課 地域づくり推進課	令和5年7月27日に東部地区4自治会と地域づくり推進課で菓子保育園跡地についての協議を行いました。令和3年9月からの経過を共有し、市として跡地利用の予定がないこと、また、児童福祉課から財務課への所管替えを予定していることの説明を行い、その旨をご理解いただきました。	7月27日
12	地域懇談	東小学校に学童保育クラブが2つあり、1つは東小学校の正門入ってすぐ左側だがこれはあまり問題がありません。問題があるのは、東部体育館の後ろ側にある川前学童クラブの建物です。これは市内に数十か所ある学童クラブの中で一番古いと聞いています。また、地形的な問題により昨年7月24日の大雨の時に学童クラブの建物が床上浸水になりかかったという経緯があり、経営主体である父母会からは新築して移転するほうが良いという要望が出ています。学校から1.4キロあるという問題もあるので、なるべく早く結論を出してほしいです。自治会側としては東小学校の敷地内にある学童の隣の空き地に新築してけると嬉しいです。要望書も提出していることから新築移転について強く要望します。	要望書は確かにいただいており、共有しているので受け止めたいと思います。現在学校敷地内を使用するという要望なので、教育委員会と相談しています。早めに結論を出せるようにしていきたいと思っているのでもう少しお待ちいただきたいです。 (勝田健康福祉部長)	児童福祉課	市回答のとおり	
13	地域懇談	東小学校には支援学級がないので、滝沢第二小に行くしかない状況で、医大の先生には支援学級をつくるように保護者の方から呼びかけてくださいと言われていたと聞きました。そうではなくて、全ての小学校に支援学級ができ、学べる環境づくりを推進するようにしていきたいです。	子どもたちの学びの環境を整えていくというのはとても大切なことだと思っています。まずは子どもさんのお話を直接お伺いしながら相談し、どのような対応が一番適切なのか考えていく窓口があるので、そちらで実情を聞きながら対応したいと思います。 (太田教育長)	学校教育指導課	市回答のとおり	
14	地域懇談	菓子集会所の改築についてコミュニティセンターができると聞いていましたが、予算がなく頓挫したのであれば、せめて集会所を改築してほしいです。今ある集会所は屯所を改築したもので、築年数は40年以上になります。現状は雨が降ると雨水がたまって入りにくい状況で、毎年のように修繕している状況であり早めに改築してほしいです。今の場所は駐車場も狭いので本来であれば移転が一番だが、自治会としても今のままではだめだと思特別会計で毎年お金を貯めているので、せめて改築にしたいです。	菓子自治会さんの総会資料を拝見し、お話は承知しています。土地は市の土地の中だと考えていくということを基本としています。今は市の建物で、市の土地でということになっていますが、今の場所がいいのか、別の形がいいのかなど具体的なお話は自治会さんと、積み立てもしていただきながら今後相談していきたいです。また、市の方では基本的に自治総合センターのコミュニティ助成、いわゆる宝くじ助成も念頭に置いて皆さんにお願いしているところもありますので、詳しいところは担当と詰めながら今後相談していきたいです。 (久保市民環境部長)	地域づくり推進課	市回答のとおり	
15	地域懇談	保健推進委員をやっていて、健康教室を年1回開催していますが、菓子集会所では狭くてとてもできません。葉の木沢山活動センターで開催していますが、お年を召された方も多く、来れない人もいますし、ここ何年かは自分の地区の場所ではないところでやっています。また、サロンの活動で買い物場所がなく不便というお話も聞きました。サロンの会議の時に移動販売車もお願いしていますが、30人くらい集まると展示スペースも含めてスペース的に狭く、これも大変な状況です。現状を訴えてもなかなか難しいかもしれないが、活動していて不便なら市に届くかもしれないと思いました。	実際に利用されている方のお声もお聞きしながら、相談していければと思いますのでよろしくお願ひします。 (久保市民環境部長)	地域づくり推進課	市回答のとおり	

16	地域懇談	防災無線についてチャイムは聞こえるが内容が聞こえないので、もう一度調査してみんなに聞こえるようにしてほしいです。また、高齢者が運転免許を返納したときの特典が滝沢市はないと思います。	防災無線については、具体的に場所をお聞きして担当と個別に相談が必要になりますので、後ほどお話をお聞きしたいです。免許返納の件は、滝沢市独自では確かにやっていますが、岩手県警さんにはいろいろなサービスがあるので、個別に相談できればと思います。（久保市民環境部長）	防災防犯課	要望の方を訪問し、調査・対応いたしました。防災行政無線については、現状を説明した上で、滝沢NAVI、いわてモバイルメール、電話応答サービスを整備していることをご案内し、ダウンロード等対応させていただきました。免許返納後のサービスについて、市独自のサービスは実施しておりませんが、民間で実施しているサービスの一覧を提供いたしました。	6月21日
17	地域懇談	「やさしさ」は命につながる話には共感したので、命や健康がやさしさにつながると思います。また、現在、せいほくタウンは人口が増えているようですが、菓子地区は人口が増える要素がないと思います。国道4号線沿いが栄えていかなければ、菓子地区で人が増えていかない気がします。以前に分レに道の駅ができるという話がありましたが、玉山にできてしまうのでその話もなくなったと思います。人が集まるところがないと賑わいもなく人も集まらないので何とかしてほしいです。矢巾は医大を誘致して人口が増えていますし、北上では工業団地で発展していて良い状況にあると思います。市長公約の日赤誘致やSIC付近の工業団地の形成についても場所を考えてほしいとは思いますが、市長の公約に共感しますので市長には頑張してほしいです。ただ、我々は菓子地区に住んでいますので、菓子地区が発展してほしいと思います。		企画政策課	市民の皆さんからいただきました御意見も参考としながら現在、第2次滝沢市総合計画の策定を進めています。具体的な取組施策等についても今年度策定し、来年度の市政懇談会等においても御説明する予定としています。	
18	地域懇談	日赤の誘致について、医療ゾーンを大釜周辺地域にすると聞きましたが、仮に大釜にすると菓子からだだと遠いので行けません。国道4号にも広い牧草地があるので、国に頼んでこちらの方にも何とか病院を持ってきてほしいです。そうすると、北からも人が集まり菓子地区が発展するかもしれないと思うので、菓子に何とか病院をもってきてほしいです。		企画政策課	市民の皆さんからいただきました御意見も参考としながら現在、第2次滝沢市総合計画の策定を進めています。具体的な取組施策等についても今年度策定し、来年度の市政懇談会等においても御説明する予定としています。	

やさしさの部分は皆さまから様々なご意見をいただきました。私道の関係などもそうですが、市が用意している様々なメニューについては、何をやっているか分からないというお声もいただくのでまだまだ浸透度が足りないと感じます。そういったところも含めて、広報紙だけではなくSNSも含めて情報発信について、どういった周知が必要なのかも含めて改めて考えていきたいです。働き方改革から休日の職員対応についてもありますが、相の沢キャンプ場はコロナ以降とても人気が高まっています。自然観察は子どもたちが来てくれるようになったので子ども会の中に盛り込んでいただくなどして、詳しく説明できる方が地域にたくさんいるので、そういう人も含めて任せてほしいし、相談していければと思います。命のことに関してもお話がありました。国立の医大がないのは岩手県ですが、これまで、自治医科大や東北大学、岩手医大などの関係各大学が医師の派遣などを行っています。やはり医者になるにしてもお金がかかります。岩手で働けば授業料免除などもあります。が、それを用意したとしても、研究したい気持ちにストップをかけることはできません。優秀な学生ほど大学を選んでいくという実状がありますので、子どもたちには強制できないと思っています。しかし、先日盛岡大学の学生さんと話をしたときに、市内の小学校の卒業生が大学の教育実習で母校に戻ったときにスクールガードの方が覚えていてくれたことに胸が熱くなり、教員になって盛岡周辺で働きたいという気持ちが高まり、明確な目標が持てたという話を聞きました。このように導いたのはやはり地域の方の活動があってこそだと感じます。この話は医師の話にもつながると思うので、地域の皆さんといかに関わり、地域と触れ合えるかによって、学生が戻ってくるのかどうかにつながると思います。また、工業団地の件に関しては、SIC付近であればできるかと安易に考えていたところもありましたが、県道の盛岡環状線は県内で混雑度が一番高い水準にあり、大型車の混入率も高い状況です。工業団地を新たに作った場合に、また新たに混雑を生み、暮らしがままならない状況になる可能性があります。せっかく工業団地を誘致しても従業員が定時につかない状況を生んでは会社にも大変な話になりますので、まずは盛岡環状線の渋滞解消に向けて取り組んでいきたいです。あわせて工業団地の形成の手法に関しても含めて検討し、場所についても用地交渉があるので一緒に進めていきたいです。

また、県立大学は県外に行く比率が高いようですが、盛岡大学の卒業生の75%は県内に就職しています。学生さんの地元愛着醸成を図り、各大学とも連携し若者定住につなげていきたいと考えます。働く場が滝沢だとしても住む場所が八幡平や広城市町でもいいと思っていました。要はいかに岩手県にどうやって若い人が定着してもらえるのかという観点でこれからも工業団地の計画は大学周辺やリサーチパーク周辺にも誘致していきながら頑張っていきたいです。

菓子地域を見ていて高齢化が進んでいてこの後が心配だという声も聞きますが、菓子地域で行う山車まつりは一斉に各世代がお互いに楽しめるお祭りで、そのようなお祭りがあるのは滝沢では菓子地区だけだろうなと思います。それを見たときには他の地域から見るとすごくうらやましい地域だと思います。滝沢二中では、「お祭りに参加して地域の役に立つことが、私がこれから地域にできるやさしさです」と発表した生徒がいました。このようなお祭りなど、いかにして賑わいを作っていくかということは皆さまのお力の発揮どころだと思います。

日赤誘致については、ある新聞に大釜地区に医療ゾーンを設けるなど様々と出ましたが、私から記者の方にそのような回答はしていないのでご安心いただきたいです。勝手にいろいろな話が走り出しているが、どういった取材のもとでそのような掲載したかは分かりませんが、私はそのようには答えていません。ましてやどこの地区につくるかなどそのように話してしまうと、土地の吊り上げの話にもなり、不動産関係の会社が入るのを分かっているように言うわけはありません。病院に通う手段の話がありましたが、タクシーの運転手がいなくなるかもしれない、バスの運転手も見つからなくなっていくという時代に、どうやって病院に通うかを第一優先に考えています。この菓子地区にはIGRもありますし、滝沢市内は田沢湖線も走っているので、JRやIGRを活用できる地域を作っていきたいと考えています。病院に行きたいと思っても家族に頼めないという時代が目の前に迫っていて、ましては一人暮らしの方が増えているのもその通りであるので、これからは病院に通うこととその交通手段も一緒になって考えていかなくてはいけないので、これからの地域づくりはすごく難しいと思います。また、滝沢市に日赤をという一番の問題は、東日本大震災を経験して、いかに災害に強い岩手県にしていけるかだと思います。災害が起これば自衛隊の皆さんと一緒に日赤が駆けつけるという形を作っていくことが、震災を経験した岩手県の務めだと思いますので、総合的に考えてやっていきたいです。（武田市長）

② 大沢地域づくり懇談会

No.		質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計	地域で健康ゲーム大会をやっています。その中で去年、自分たち独自の「かるた」を作ろう、大沢地区のいいところ、昔あったところをかるたにしよう。世界に一つしかない大沢独自のかるたを作ろうということになりました。完成した3種のかるた（大人2種、子ども1種）で、3月にカルタ取り大会をしました。大会の名前は、今までは「健康ゲーム大会」でしたが、「世代間交流」の名前をつけようということで、「世代間交流健康ゲーム大会」ということで新たに開催しました。8月には、同様に「世代間交流焼肉パーティー」を開催予定です。地域の独自の大沢地区のいいところとして、これから若い人たちと年配者が、いかにして交流を深めていくかということに、取り組んでいる最中です。	実は小・中学生は、もっともっと地域にあるお祭りに関わりたいたいと言ってくれています。各世代の方、おじいちゃんおばあちゃんと地域にある伝統文化について教わりたい、そういったことをしっかりと未来に継承することやはりやさしさに包まれた滝沢に繋がっていくんじゃないかと、子どもたちは話してくれました。この大沢に元々あるもの、そしてこれから守っていくべきものについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。（武田市長）	地域づくり推進課	市回答のとおり	
2	総計	大沢地区には公共交通が充実していないと感じます。ビッグルーフで何かイベントがあるといっても、なかなか年配者の人たちは、行くことができません。他の市町村では、乗り合いタクシーとかやっているようだが、そういった策を将来的に考えてもらいたいです。バス停があっても、年配者にはここからバス停まで歩くのがまず大変です。		都市政策課	市では駅などの交通結節点からの公共交通機関が少ない地区をモデル地区として無料タクシーを利用した実証実験運行やワークショップなどを実施しています。この結果を踏まえ、地域の需要や特性に即した新たな交通サービスについて検討を行ってまいります。	
3	総計	昔は田植えでも手で植えて、大人から子どもまで役割があり、「ゆいの精神」が昔からこの地域の文化としてありました。そういう面では思いやりとか優しさとか、地域に根ざしたお互いに顔が見える時代でした。さんさ踊りの継承や、大沢まつりの神輿にも言えるが、自分たちの作り上げたものを継承していく、優しさに満ちた昔からの流れを続けていくためにも、世代間交流して、そういった顔が見える中での繋がりが大事になってきていると感じます。		文化振興課	各郷土芸能保存団体が継続して活動を行えるよう、出演機会の拡充や団体への支援を引き続き行って参ります。	
4	総計	結婚して盛岡から滝沢に転居し、子どもがうまれた夫婦の話を知りました。育児休暇を終えて仕事に行きたいが、保育園が断られてばかりで見つからず、困っているそうです。やっぱり盛岡がよかったという声が聞こえてきました。保育園の状況は今どうなっているのか教えてください。	やはり待機児童がいるのが現状です。先日、菓子保育園が新設移転し、預かることができる人数が増えました。0歳児の人数も増えているはずですが、元村保育園についても、一昨年に新しくなり、保育の人数が増えています。そういった形で、徐々に解消に向かっていっているのではと思います。通勤やお住いの関係でどうしてもここに入れたいという思いのある方も多いため、住宅密集地などにある保育園には人が集中してしまい、希望の園に入れられないということもあります。市としましては保育協会の皆さんとも連携しながら、取り組んでまいります。また、子どもの医療費の関係では、医療費給付を今年高校生まで対象拡大しているのですが、さらに所得制限についても検討していこうということで進めています。徐々にではありますが、子育て環境や支援にも力を入れながら取り組んでおります。（岡田副市長）	児童福祉課	市回答のとおり	
5	地域懇談	自転車通学路の件についてです。おかげさまで防犯灯はつけていただきましたが、道路がなかなか狭く、すれ違う際によける場所がありません。昨年もお願いましたが、なんとかここに待避所を設けて設けてもらえないでしょうか。じつは大沢の子どもたちはあそこを通らない、通るのは篠木の子たちが多い訳ですが、大沢の子が通らないから関係ないということではないと思っています。ぜひお取り計らい願いたいです。	道路課から、現地を確認したという報告は受けております。待避所3か所ということで、待避させる場所が土地改良区の土地となっており、そちらと今現在話し合いをしているところですので、もうしばらくお待ちいただければと思います。（長内都市整備部長）	道路課	現在、関係者協議及び施行について検討中となります。	

6	地域懇談	ここから50mほど行った、小学校に行く道路だが、非常に狭いです。拡幅したくて、地域では、自分たちでできることは自分たちでやろうと、水量の多い水路(300mほど)には蓋をかけることにしました。しかし、道路から路肩にかけての部分は、我々では手が出せません。先日市の職員の方に現場を見ていただきましたが、なんとか実現させていただきたい。	市では、市内の修繕などが必要となるところについて、優先順位をつけながら実施しております。早急ということであれば、ロード支援事業というものが、地域の皆様や事業者さん支援をいただきながら、市でその資材を提供して行うのであれば一番早く実施することができます。市で実施するということができれば、修繕計画に記載し、優先順位を比較しながらということになり、多少時間がかかってしまいます。引き続き確認して、順次進めてまいりたいと思います。(長内都市整備部長)	道路課	現在、関係者協議及び施行について検討中となります。
7	地域懇談	主要地方道の環状線両側歩道の関係です。南の方から来たものは、篠木で終わってしまっています。鶴飼の方から来たものは、谷地上のあたりまでで、それ以降は手をかけられていません。これは県の事業なので、市がどうにかできるものではないと思いますが、ぜひ、早期に実現できるよう要望をお願いします。保育園に入るところまででも、何とかお願いできないでしょうか。JAのところの交差点は、朝の時間、異常に並ぶ。そこにはこれから右折レーンがつくはずですが、大沢保育園に入るときは右折がないため、せっかく手前の信号に右折レーンがついても意味がなくなってしまいます。ぜひ要望してほしいです。	盛岡環状線は、今現在農協のところまで道路を工事することが決まっているという状況で、用地買収するためにですね評価を始めたという聞いています。市といたしましては、できれば篠木小学校の入口までは、ぜひ何とかやってほしいというお話はしておりますので、引き続き県の方には要望してまいりたいと思います。(長内都市整備部長)	道路課	市回答のとおり
8	地域懇談	大沢地区は14年間無火災です。消防団の皆さんの活動が非常に効果的で、その火災を出さないようにという意識が非常に今、地域の皆には浸透しています。しかし自然災害は防ぎようがない部分があります。そういった際に、地域で緊急に対応するため、親子ひろばに砂と土嚢袋を常備してもらえないでしょうか。	自然災害の備えということで、本日担当の部長がこの場には来ておりませんので、今日いただいたお話を受けながら公園所管課と持ち帰って検討させていただきたいと思っています。(佐藤企画総務部長)	都市政策課 防災防犯課	市回答のとおり、検討させていただきたいと思っています。
9	地域懇談	ストックヤードの件について。設置に当たって申請書等をつくるのが非常に大変です。都市計画や建築確認に係る書類は特に、現地に行って作成しなければいけない。ストックヤードやごみ集積所は、家と違って地域のみんなで利用するところなので、書類の簡素化など検討いただけないでしょうか。大沢保のときには、関係課に一気に集まっていたいて、一挙に進め、保育園を拡張した経緯もあります。	ストックヤードは建てる場所やその規格などによって、さまざまな手続きが必要になってきます。先ほど何か所も回ってというお話がありましたが、もし調整がつけば、1回に大沢保育園のときのように話を聞いて、調整していくことも可能なのではないかと思います。事前に連絡いただければ、調整できるように取り組んでまいりたいと思います。(長内都市整備部長)	滝沢・雫石環境組合 都市政策課	市回答のとおり
10	地域懇談	篠木小学校が150周年を迎えます。それにあたって、市には財政的な部分の力添えをいただけないでしょうか。これまでの120周年や130周年とは違った取り組みをできたらと検討しています。地域には学校に関わる古い写真を提供してもらえるようお願いしていますし、先日作成したかるたも、方言の解説付きで展示したいと考えています。	篠木小学校の150周年は、市にとっても喜ばしく、誇らしいことだと思っています。子どもたちに伝統を引き継ぎ、大沢さんの踊りなどを学ぶことによって、地域の人との自然な関わりと触れ合いが出てくることで、3年間コロナ禍で失われた部分をもう一度地域に戻って、故郷を大切に思い愛着を持って生きる喜び、守られて育まれる幸せを実感できるような会にしていきたいと考えています。財政資金の面では、すぐにはお答えできませんが、教育関係団体の助成など、情報提供しながら進めていければと思います。いずれ、教育委員会も協力していきながら、この誇らしい伝統を市全体に広めていけるように、皆様方のお力もたくさんお借りしたいと思しますのでよろしくをお願いします。(太田教育長)	教育総務課	篠木小学校150周年記念行事にあたり、過去資料の提供や式典への参加など、市教育委員会として協力してまいります。

11	地域懇談	<p>親子ひろばでは、土日や学校終わりに子どもたちがよく遊んでいます。遊具についてだが、過去には5つくらいあったものが今では3つに減り、のぼり棒は使えない状態で1年間そのままになっています。使えないのであれば、早く撤去してほしいです。現在はブランコ、鉄棒、滑り台がありますが、そのほかにも何か作ってほしいです。遊び場に遊ぶものがないのは残念です。</p>	<p>公園は市内に200か所以上あり、そのうち遊具がついているのが175か所ぐらいです。親子ひろば以外にも、遊具がもう使えないというところが多数あり、市では順次限られた予算の中で撤去や更新したいと考えておりますが、限られた予算なので、一気にはできないというのが現状です。</p> <p>公園の長寿命化計画を今年度作る予定です。その中で、どこからやっていけば一番効率的なのか計画を立てて取り組んでいきます。計画を作ると、国から補助金がもらえるということもあるので、その補助金も活用しながらベースアップしていきたいと考えております。</p> <p>公園に新たな遊具を設置するということとなりますと、地元の皆様とお話をさせていただいて、本当にこういうものが必要なんだというところのご意見を伺いながら、設置していくというような形になると思います。</p> <p>(長内都市整備部長)</p>	都市政策課	<p>当日の市回答のうち、公園の数について修正いたします。</p> <p>公園は市内に191か所あり、そのうち遊具がある公園は139か所となります。</p>
12	地域懇談	<p>おたふくの予防接種ワクチンについて、各市町村によって助成金が出たりでなかったりします。助成金の多いところは5000円の助成金が出たりしていますが、滝沢市の場合は全然出ていないので、その辺を今後検討してほしいと思っています。</p>	<p>おたふくは定期の予防接種になっていないということで、それぞれ自治体によってお話あった通り、補助をしたりしていなかったりといった差があるのはその通りです。国でも定期の予防接種に位置付けるというような検討もしてるようですのでそちらの様子を注視していきます。また帯状疱疹も結構お金がかかるといったこともありますので、定期の予防接種への位置づけであったり、例えばどこ補助をするのかといったことも合わせて検討していきたいと思っています。国の動向を見ながら、対応の方も検討させていただければと思います。(岡田副市長)</p> <p>補足ですが、ワクチンの話を去年もいただきまして、インフルエンザにつきましては中学生まで盛岡市に比べて700円滝沢市のほうが補助額が安かったということで、これにつきましては今年度から同じ額としております。様々なことからまず、検討して実施しておりますので、今後についても検討させていただければと思います。(武田市長)</p>	健康推進課	市回答のとおり
13	地域懇談	<p>今年度、「馬と曲り家のおおさわ村」のNPO法人が解散しました。将来、このまま曲り家が消滅してしまいか、とても心配です。もし何らかの形で生かされていくのであれば、すごくありがたいと思っています。市や関係団体や、そして地域も入りながら、今後について検討する場を設けることはできないでしょうか。</p>	<p>曲り家の今後については、例えばチャグチャグ馬コ保存会の方でそういう話が出ているかという、多分個人所有のものだということもあり、おそらく話が出ていないと思います。</p> <p>東京チャグチャグ馬コという形で東京から支援しながら、当日も来てる方もいまして、そういう方も情緒あふれる曲り家を楽しみにしてくるんだろうなと思います。</p> <p>ただ建物を保存するというのは大変なことで、すぐにどうこうできる問題ではないのですが、一つのテーマとして今回いただいたお話を担当の方にも共有したいと思います。保存にあたっては、様々な方々に関わってもらわないと継続していくことが難しいと思いますので、そういう意味では、いろんな方々の力を借りながら、今後どうしていくかみんなで考えていくことが必要だと思います。</p> <p>まずは今住んでらっしゃるご本人がどうお考えなのか、そういったところがはっきりしない中で、我々がどうこう言えないというのが正直なところかと思えますし、そして市内には他にも同じような歴史の深い建物があります。曲り家だけが特別扱いにならないように配慮が必要と考えます。(木下経済産業部長)</p>	観光物産課	市回答のとおり

③ 上の山自治会地域づくり懇談会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計	高齢化が進む中で交通の不便さを感じています。交通の分野に関して、巡回バスのような形で検討していただきたいと考えています。また、岩手県交通のバスが走っていますが本数が少ないと感じます。	都市政策課	現在、市役所前の中心拠点商業地区の整備に合わせて市内各地域から中心拠点地域に向かうコミュニティバスなどの地域内交通について、利用者のニーズなどを把握したうえで検討する予定としております。また、本市に限らず県内各地のバス路線においては利用者の減少や運転手不足等の理由から廃止または減便を余儀なくされております。	
2	総計	人間ドックの補助額を増額することがやさしさに包まれた滝沢につながると思います。	健康推進課	人間ドックの助成を行うことで受診機会を拡大し、疾病の早期発見や生活習慣病予防につながります。人間ドックを含め、がん検診では、一定の受診者自己負担をお願いしているところです。今後、診療報酬の改定や他自治体の動向を踏まえ、必要時検討を行ってまいります。	
3	総計	鶉飼臨安から近隣の病院への交通アクセスについて、冬季においては降雪した際に病院にたどり着けない不安を抱えており、不安を解消するため除雪をしっかりと欲しています。	道路課	除雪計画に基づき、適正な除雪を実施してまいります。	
4	総計	過去に市が実施したタクシー利用の社会実験について質問ですが、実験の結果はどうであったのか教えてください。また、社会実験の移動対象は市内のみであったと記憶していますが、市内の移動頻度は低いと思います。	都市政策課	市内のモデル地区における無料タクシーを利用した実証実験運行については、利用者が少なかつたものの、「相乗りへの抵抗感がないこと」や「地域でのたすけあいへの協力」に対する意見が挙がったことから、今年度は地域住民とワークショップを行い、地域と一緒に必要かつ持続可能な交通サービスについて検討してまいります。	
5	総計	福祉バスの運行について、本数を増やしてほしいです。	高齢者支援課	ご意見として承りました。	
6	総計	幸せや優しさといったことを感じるためには、行政の方々がきちんと現場に出向き、現場の問題をインタビューするなど取り上げる方法を行っていただきたいです。	企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。	
7	総計	様々な事業の実施方法について、全国レベルで情報交換をして、そのうちからベストソリューションというのは何かを考えるなど、情報収集に努めていただきたいです。	企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。	

8	総計	私は職員の方々が幸せだということをこれまで聞いたことがありません。やさしさを幸せについて、市民の意見もありますが、幸せを考える際には、市役所の職員自身が本当に幸せかどうかを考えていただきたいです。		総務課 企画政策課	【総務課】 ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見を今後の行政体制の構築に活かしていきたいと思えます。 【企画政策課】 いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。	
9	総計	選挙の投票率が低いことについてですが、特に若い人が選挙に対する期待を持っていないと思います。若い人たちが期待することは何かを考えていただきたいです。		選挙管理委員会事務局	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見を今後の選挙運営に活かしていきたいと思えます。	
10	地域懇談	滝沢市内には魅力的な働く場所がないという問題が提起されております。これに対して、市としてはどのように考え、どういう対応策を取っているのか伺います。	若者定住ということで、現在の市の取組としては、市の強みであろう大学の立地を生かして、大学の実習への参加のほか、様々な行政と学校との関係づくりを進めております。 また、今年度新たに若者活躍推進室を経済産業部に設けまして、企業と学生とを繋げられないかということで、若者と行政と市内企業の繋がりづくりに取り組んでおります。（佐藤企画総務部長）	企業振興課	市回答のとおり	
11	地域懇談	赤十字病院の誘致だけでなく、市内に産婦人科病院が無いといった状況で子育てをしていくのが不安に感じています。医療系の問題について、今の現状をどう認識し、また今後どうしていきたいか、さらにはどういう対策をとられるか伺いたいです。	日本赤十字病院については、医療ゾーンを設けるような事実はありません。今は御理解をいただくことが一番大事だと思ひ、関係先に挨拶に伺っています。また、市へ誘致したい理由を理解していただくための情報収集を職員とともに進めています。（武田市長） 医療機関については、市には18件の医療機関と19件の歯科がありますが、産婦人科は無く小児科も2件であります。地域で安心して産んで育てていただくため、医療機関を増やしていくことを考えております。 なお、中心拠点では、開発業者において医療ゾーンを考えており、数件のクリニック、薬局を配置するよう交渉しているということ伺っております。まずは様子を見ながらとなりますが、産婦人科や小児科の立地については、開発業者とも話をしながら進めていければと考えております。 また、岩手西北医師会では、地域の医療機関における先生方の高齢化について話題として聞いております。将来に向かっては、病院で治すだけではなく、地域での在宅医療を中心に、最後の看取りの部分についても考えているようです。その点をカバーできるような体制構築について、行政も入りながら進めていきたいと考えております。（勝田健康福祉部長）	企画政策課 健康推進課	市回答のとおり	
12	地域懇談	病院の誘致のほか、予防医療の部分についても保険適用となるような検討を進めていただきたいです。そのことが幸せにつながるのではないかと考えます。		企画政策課	市民の皆さんからいただきました御意見も参考としながら現在、第2次滝沢市総合計画の策定を進めています。具体的な取組施策等についても今年度策定し、来年度の市政懇談会等においても御説明する予定としています。	

13	地域懇談	市の防災行政無線の放送が全く聞き取れません。人命に関わることも放送されることがあると思いますので、高齢者をはじめ誰にでも聞こえるようにしていただきたいです。		防災防犯課	市内防災行政無線放送について、これまでも様々な意見をいただきながら対応しているところです。放送が聞こえない、放送内容が聞き取りにくい等あるかと思いますが、現状について教えていただければと思います。また、緊急時の情報伝達方法として防災行政無線の他に、いわゆるモバイルメール、滝沢NAVIによる配信や電話応答サービスなど整備しており、多重化を図っているところですのでご利用をお願いします。
14	地域懇談	上の山自治会でのいきいきサロン企画については、市役所より車を提供していただいています。今般の企画の中で、運行距離の制限により車の提供は出来ないとの回答がありましたが、この件について改めて御検討いただきたいです。	詳細について確認の上、追って回答させていただきます。（勝田健康福祉部長）	地域包括支援センター	いきいきサロンにおけるバスの利用については、令和5年度からおおむね片道15キロまでの範囲内でコース設定をしていただくこととしており、説明会でもお伝えしているところです。高齢者の閉じこもり予防や地域での交流、外出のきっかけづくりがバス利用の目的となっておりますので、距離制限の範囲内でコースを検討いただければと存じます。
15	地域懇談	介護認定について、滝沢市が一番遅いという意見があります。制度を十分に活用するためにも、体制について検討いただきたいです。	介護認定につきましては、御意見として伺っております。この6月に介護認定に係る調査員を1名増やしているほか、追加でもう1人募集しており、体制の整備を行っております。御迷惑をおかけしますが、御理解の程よろしく願います。（勝田健康福祉部長）	高齢者支援課	市回答のとおり
16	地域懇談	滝沢総合公園ふれあいの森に関してですが、山の上三太夫の墓の危険性や、里山公園のジャブジャブの池の衛生管理状態について気になることがあります。また、公園の運営に関する内容ですとか、中心市街地の開発計画など、進捗させる際には住民の意見を取り入れることが大事だと思います。場合によっては住民を参加させるぐらいのことを考えてやらないと、住民満足度の高い開発でしたり、公園の運営ができないのではないかと思います、いかがでしょうか。	総合公園につきましては、当初のコンセプトに基づき整備を進めて参りましたが、年数が経過している箇所もございます。山の上三太夫のお話もありましたが、個人の所有地ということもあり、市ではその場所を買取できなかった経緯もあります。また、池の衛生管理につきましては、泡が立って汚い箇所があることも御意見として伺っておりますので、十分に監視しながら衛生状態を保っていきたくと考えております。市内の小さい公園につきましては、長寿命化計画等も踏まえて、再編や整備をしていければということを考えておりますが、皆様と意見交換等の機会を設けて進められればと思っております。心拠点につきましては、2015年に1200人を対象に地域の皆様に抽出してアンケート調査を行い、どういったものを整備したらよいだろうかということで、御回答いただいております。その中で、買い物・飲食・医療・健康増進・子育ての施設が欲しいという御意見を踏まえて、「食べる」「買う」「健康」「育てる」この四つをそこに集めることを考え、開発事業者がコンセプトに沿った開発を進めています。立地を規制する条例も設置しており、このコンセプトに適うように今現在進めさせていただいております。（長内都市整備部長）	都市政策課	市回答のとおり

17	地域懇談	盛岡環状線の道路についてですが、朝は渋滞がひどく北から来る車両はミクニの付近まで渋滞していることがあります。車両での交通について、優しいと感じませんかはいかがでしょうか。	盛岡環状線につきましては岩手県が整備しており、環状線の拡幅工事を継続することであり、大沢のJA岩手農協の付近まで整備する計画として伺っております。なお、滝沢市商工会付近の交差点についてもまだ整備箇所が残っておりますが、県の方で順次整備を進めていくというようになりになります。（長内都市整備部長） 滝沢南中学校のところですが、道路が細くて大型トラック同士がすれ違う際はなかなか進まないというような状況があります。この状況が解消されれば、今よりは流れがスムーズにいくのではないかと考えております。 環状線や県道ですが、整備するに当たっては、両側にしっかりと歩道をつけることをしております。付近の河川の取り回し等も踏まえて計画を立てて、進めてまいりたいと思います。 あわせて、国交省や県と一緒にこの環状線の混雑をいかに解消するかについて、会議を行っておりますので、報告させていただきます。（武田市長）	道路課	市回答のとおり	
18	地域懇談	滝沢南中学校の生徒ですが、田んぼ側の道を通って自転車通勤する生徒が多いと感じています。このような通学路については、市が土地買収することも考えられますがはいかがでしょうか。	滝沢南中学校の生徒がご指摘の横断歩道のある箇所を通っており、また農作業の軽トラックやトラクターも走っているということは認識しております。 このような箇所については、教育委員会をはじめ防災防犯の部署があるいは警察を交えて通学路の安全を確認する話合いも行ってございまして、拡幅が必要なおところは拡幅していくというような対策を行っております。（長内都市整備部長）	道路課 学校教育指導課	市回答のとおり	
19	地域懇談	小岩井駅周辺に住んでいる小学生や中学生などの中には、電車を使用して登校している生徒もいます。冬季には電車の遅延も考えられるなど、登校に支障があるものと思いますがどうお考えでしょうか。	通学に関してですが、電車が止まる際にはいち早くJRから連絡を受け、市の方でバスを確保して子どもたちを学校に送迎する形をとっています。 また、スクールガードが駅のところまでの子どもたちの安全確保をするなど、見守り活動も行われております。大都会の子ども達と同じように公共交通機関を使用しておりますが、上手く活用しているものとみております。 滝沢市内の小中学校等においては、公共交通機関を利用している割合は高いものと捉えております。（太田教育長） 電車やバスでの通学時には、高学年の子が低学年のことをしっかりと一人ずつ誘導して静かに席に座らせたという話も聞いております。また、バスの定期券の落とし物を見つけた際にも騒ぐことなく伝えるなど、子どもたちなりに周囲に配慮する工夫をしております。 学校内での教育もありますが、子どもたち自身もバスの中という新しい社会の中で自分たちがどう過ごすかを学んでおります。この点については、ぜひお知りおきいただきたい思います。（武田市長）	学校教育指導課	市回答のとおり	
20	地域懇談	小岩井駅周辺に学校を新設し、小岩井から電車を使用する児童生徒や姥屋敷の児童生徒を通わせてはいかがでしょうか。40年前の話ではありますが、小学校の新設の話があったと聞いています。しかし、児童が500人以上いないといけないという意見も聞いたことがあります。国の補助の関係もあるかと思いますが本当でしょうか。	小岩井の小学校の新設の話についてですが、小岩井周辺に住まっていた方の中でも、小岩井農場で働かれていた方がいらっしゃり、その関係の方が零石の学校に通われていました。小岩井農場の仕事が無くなってきたこともあり、これらの方々が篠木小学校に通うようになったという経緯があります。 新たに小学校を新設するためには、生徒数が多くなりマンモス校になっている状況など、一つの学校で賄うことができないような現象が起きない限りは簡単に新設は出来ないと考えております。（武田市長）	教育総務課	学校建設は、今後の児童生徒数の増減や市全体の教育環境を踏まえ検討していくこととなりますが、現時点では新設校の設置は予定しておりません。	

④ 篠木地域づくり懇談会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時	
1	総計	<p>第2次滝沢市総合計画について、総合計画審議会で議論された上で、このような内容になっているのかどうかお聞きしたいです。市長は、基本ルールに基づき検証した上で、公表することと思いますが、それを踏まえて検討し、この計画に取り組むことになったのか、経緯の説明をお願いします。</p>	<p>総合計画審議会では、1年延長することと、私の公約を総合計画に盛り込むことを検討しました。自治基本条例に、市長は総合計画を策定するにあたり、自分の公約を盛り込むという項目があります。私も自治基本条例にしっかりと向き合う気持ちで、この4つの公約を掲げ、入れさせていただきました。そして、1年延長したいということをお話したところ、議会からは否決されましたが、総合計画審議会では反対の意見は1つありませんでした。そして新しく策定する場合は、わかりやすい言葉で作ってほしいとのことでした。また、これまでやってきた8年間の計画について、アンケート調査の結果を一部掲載していますが、大体の項目で割合が伸びています。しかし、コロナ禍関係の「1年以内に地域活動に参加しましたか」という項目のみ大きく下がっています。まずはそこに着目しながら、総合計画を考えました。先日も、やさしさに包まれた滝沢をテーマに総合計画審議会を開催したところ、この4つの柱はわかりやすいという意見がありました。やさしさについても、少しわざとすぎる、などという話もありましたが、次の目標に向かって進めていくことについて理解できるというような意見もいただきました。これまでの総合計画審議会でも否定的な意見はなく、計画を推し進めるために今順次準備を進めているところです。そして、このように地域の皆さんの声を聴き、しっかりまとめた上で、再度総合計画審議会に諮りたいと考えています。様々な団体の方、そして地域の方々が出席している総合計画審議会ですので、意見もさらにならいただきながら熟度を高めていきたいと考えています。（武田市長）</p>	企画政策課	市回答のとおり	
2	総計	<p>これから展開する4つの視点について説明がありましたが、市として実施したい内容などを、地域住民にも教えてほしいです。それに対して私たちも何か行動できると思います。具体的な計画がないのであれば、やさしさなどではなく、4つの視点そのもの、前期の総合計画の基本計画そのものでもいいと思います。</p>	<p>細かい計画につきましては、市民の皆さんから頂いた意見をしっかりと折り込みたいと考えています。子どもまんなか滝沢の関係で、先日議会で説明しましたが、子ども医療費の所得制限は撤廃する方向で今準備を進めています。それにより、子育て世代の方々に、他の市町村と肩を並べられるようにしていきたいです。また、政策においては、地域の皆さんが地域の課題を克服するために、それぞれの地域での活動方法があると思います。まずは、このやさしさというところから、どのようにして地域の方々と人間関係を構築すること、あるいは自助、公助、共助、近助など、そのような言葉と向き合いながら、各地域でできることや地域課題を見つけながら、一緒に歩いていきたいと思っています。（武田市長）</p>	企画政策課	市回答のとおり	

3	総計	<p>やさしさをテーマにした地域づくりというお話がありましたが、やさしさや思いやりはその人の心の問題だと思います。この心を育むには、小さい頃から倫理、道徳といった教育が必要ではないかと思ひます。小学校・中学校の子どもたちに対して、市の教育委員会ではどのような時間を取って、教育していくのかお聞きしたいです。</p>	<p>小学校時代には、将来にわたる自立や人を育みます。義務教育という段階において、一生にわたる自律の力を育み、道徳の心を育成することは大切になっていきます。平成29年度から国の学習指導要領において、これまでの道徳が教科となり、誰かから「これが正しいこと」と教えられる道徳ではなく、自分たちで考え、何が正しいことなのか話し合い、周りの意見を聞きながら規範の心を育てることが、教科の中で週1時間確実に行われるように、教え方も変わっています。子どもたちが心を育むときに、自分一人で考えては心の広さや豊かさは出てきません。そのため、人との繋がりの中で、人の意見を聞き、地域の方々とのおふれあいの中で学び、その中で、豊かな関係を通しながら、豊かな心を育てていくことで、滝沢魅力学を深めていきます。地域の人たちや地域の自然や資源から、地域に愛着を持って豊かな心を育てていくことを大切にしたいと思っています。</p> <p>また、今の子どもたちは、タブレットを1人1台持ち、ICT化がどんどん進んでいます。自分で苦勞しなくても、分かってしまうことがたくさんあります。そのような環境の中でも、頑張って乗り越えていくという経験ができるよう、豊かな体験活動をたくさん経験させたいと思っています。コロナ禍の4年間でそのような経験が失われてしまいました。今こそ、地域との繋がり、人との繋がり、様々な人との関わりの中で、この地域でしかできない学びを展開するという事で、各学校では、地域の方々からお力を借りながら、一緒に活動し、ご協力いただきながら、取り組んでいくことをお願いして進めてもらっています。その中で子どもたちの心を育てていきたいと思ひます。(太田教育長)</p> <p>やさしさについて小学生と話をしたとき、やさしさに包まれたまちについてどういうことを想像するか聞きました。そこでは、困っている人が困っていると思ひ表示できる、困っている人に手を差し伸べるなどがありました。相談に乗ったが、自分で解決できなければ周りの人にも声を掛け、1人でできなければ協力し、困っている人を助けたいという意見もありました。また、地域の方から挨拶をしてもらうことが、地域の優しさを感じる瞬間であり、挨拶から生まれる人間関係も大切にしていきたいと話していました。</p> <p>やさしさに包まれた滝沢にするために、地域に元々根ざしているお祭りや伝統文化に参加して、地域の宝と一緒に守っていききたいと子どもたちは話していました。子どもたちなりに、地域にある宝、地域の皆さんから頂いたものにどうお返しするかというところまで考えていることに驚きました。そして挨拶であったり、困った人がいたら何とか助けてあげたいというような正義感をしっかりと考えていて、本当に頼もしく感じた瞬間でもありました。(武田市長)</p>	<p>学校教育指導課 企画政策課</p>	<p>市回答のとおり</p>	
4	総計	<p>篠木小学校の4年生に総合学習の中で伝統神楽を教えています。教育長が話した趣旨に基づいた学習項目だと感じました。現在の活動を各学校に広めていただき、伝統芸能や祭りを小学生や中学生に教え親しみ、地域の人たちとの交流を深めるような形でできれば、さらに地域全体がやさしい思いやりのある社会が生まれてくると、4年生の子どもたちと接しながら思っています。学力ばかりではなく、このような活動も含めてやってほしい。</p>	<p>ふるさとにあるこの伝統をしっかりと子どもたちに継承させていくことは、学校教育の中で大きな役割であると考えています。そのことについては、滝沢市全体でも取り組んでいきたいと考え、進めているところです。また、今年で篠木小学校が150周年になります。本当に素晴らしいことで誇らしいことです。伝統芸能も本物をじっくりと見せてもらう時間をとりながら、ふるさとの良さを学べる機会をつくりたいと考えています。篠木小学校学区には他にも大沢さんさなどあります。子どもたちも習うとともに、どんな思ひでこの伝統を継承してきたのかという思ひについても時間をとって見せてもらうことも大切だと思ひます。将来、自分自身もそのような思ひを持って頑張っていきたいと思ひるように、子どもたちに残してほしいと思ひます。どうぞ協力皆さんよろしくお願ひいたします。(太田教育長)</p>	<p>学校教育指導課</p>	<p>市回答のとおり</p>	

5	総計	<p>先日、提出書類の期限が今日までだったのを忘れて作業をしていて、市役所には行ったが長靴が泥だらけで中に入れませんでした。車から担当者へ電話したところ、車まで取りに行きますと言われ、何かあったら電話してくださいと言われました。そういう対応ができるのは素晴らしいと思います。</p>	<p>職員がそのように玄関まで出て行ったということは、本当に嬉しくなるエピソードです。しかし他の地域からは、相談に行ったら態度が悪かった、それは本当にやさしさに包まれた滝沢なのか、というような注意を受けたりもしています。いいことばかりではありませんが、しっかりと職員等に共有し、正すところは正しながら、対応していきたいと思っています。</p> <p>今後、全職員を対象に、やさしさに包まれた滝沢について、私から職員に対して話す予定を組んでいます。まず総合計画を進めるにあたり、私達をはじめ部長職員などには力を合わせてやってもらっていますが、肝心の現場で働いてくれる職員の皆さんにも、このやさしさに包まれた滝沢というこのテーマをしっかりと話しながら、また意見もいただきながらやっていきたいと思っています。(武田市長)</p>	総務課	市回答のとおり	
6	地域懇談	<p>滝沢はなんでもごみを焼却できて、すごく恵まれていると思います。しかし、子どもたちはそのせいでゴミの分別を知らないのではないかと思います。東京などと比べると雲泥の差です。</p> <p>滝沢市のゴミ集積所は、いろいろな状況下にあると思いますが、もう少し環境に優しいようなゴミ置き場にしたいです。篠木のゴミ集積場も非常に困っています。清掃などは行っていますが、住民の力だけではなかなか難しい状況になっています。今後、ゴミ集積場をどのような形で維持していくか、市としてどんな対応できるかなど考えていきたいです。自治会で対応する地域のゴミ集積場について、その地域に合うのももちろんですが、置きやすく回収しやすい、また見栄えも良いものにしていきたいです。</p> <p>また、盛岡広域のゴミ処理場について、葛巻町や岩手町、八幡平市からの車が非常に混むのではないかと思います。高速道路の脇にゴミ処理車専用自動車道路ができるらしいと聞きました。在来の道路を利用するのではなく、高速道路脇に専用道路があればとてもいいと思います。</p>	<p>ゴミ集積所の関係ですが、場所をうまく確保できないところでは、青空の集積場のような折りたたみ式のを遠方から取り寄せて使用しているところもあるようです。以前は値段が高かったと聞いていましたが、業者に確認したところ現在は少し安価に入手できるということでした。本来、集積所に置いてはいけないものを置かれる方もいて、そういう場合は一旦張り紙を張って、これはお持ち帰りくださいというのを何回かやってる間に、ゴミを出した方が気になって自分で持ち帰っただろうというようなケースも実際にあり、目立つような張り紙で心に訴えるということなどを繰り返すことで、効果があったというような話を最近お聞きしました。集積場につきましては、皆さんのお力で綺麗に使っていただいております、この場をお借りしまして本当に感謝申し上げます。</p> <p>広域ゴミ処理場について、自動車専用道路の話がありましたが、実際には八幡平市や葛巻町などは距離が遠いので、車の量を抑えるために一旦中継施設のような場所にゴミを集めて、大きなトラックに載せ替えて運搬することを計画しています。それにより、車の量を減らすという対策も実際に行う方向です。当然渋滞など気になる部分だと思いますが、ここ1年で影響調査を行うと聞いてますので、実際に収集運搬する車のコースなど具体的なところは、この調査の中で見えてくると思われまます。また、現在エリアとすると、盛岡インターチェンジ付近が設定されていますので、国道46号線などに、車が並んで渋滞することがないように、一旦場内に必ず入るような形で渋滞しないように対策をとることも聞いていました。(久保市民環境部長)</p>	環境課 滝沢・雫石環境組合	市回答のとおり	
7	地域懇談	<p>最近、移住や住みよい滝沢などテレビで放送されることがありますが、その際、ゴミ捨ての問題などをスムーズに解決することで、さらに滝沢はいいところだと感じると思います。他の市町村と同じことをしても目立ちません。</p>	<p>広域化に関わらず、法律の改正もあり、徐々にプラスチックの分別はしていかなければなりません。環境組合でどのような方法が良いか、負担がかからない方法も模索しながら検討中です。あわせて、企業組合で収集分別の考え方についても整理していますので、それと調整するような形で滝沢の在り方を、徐々に皆さんにお示しできる時期が来ると思います。当然皆さんにお知らせしながら、次のステップに進んでいくようなことを考えておりますので、皆さんに意見を聞きながら模索していきたいと考えています。(久保市民環境部長)</p>	環境課	市回答のとおり	

8	地域懇談	<p>日赤の誘致ですが、大釜駅周辺を医療ゾーンに設定し来年土地利用計画を見直しするというふうな話がありますが、篠木地域から見てもぜひ実現してもらいたいと思います。市長がそのような声を上げることについては、ゼロからのスタートとして我々も考えていいと思います。ただ、進めていく上で、市としてあるいは市長としての考え方や進め方があると思いますけれども、篠木地域としても住民あるいは地域として、日赤誘致の実現に向けて、どういう形で応援していったらいいか、計画を進めていったらいいかをこれから模索していかなければならないと思います。しかし、第2次総合計画の中に、その部分がどのように組み立ていくのか、またはその部分は加えていないのかなど、今日の説明で全く見えてこないの、それをどのような形で組み込むのか教えてください。</p>	<p>日赤誘致の進め方については、日赤病院にまず挨拶に行きました。そして、医師会などいろいろな関係機関に誘致を進めるにあたりご挨拶しました。やはり肝心なのは日赤さんにご理解をいただくことです。その部分についてこれからどのように進めていくか、滝沢市に来ることによりどのような利点があるのか、明らかにしていきたいと思っています。岩手県は東日本大震災で大きな被害を受けました。県立宮古病院は、当初見晴らしのいい海辺にあり、海が見えてとても素晴らしいと言われていましたが、建て替えと同時に山の上部に建設しました。建設当初は、行きづらく周りに何も無いと言われましたが、東日本大震災のときには、山の上部に建てられていたからこそ助かり、多くの命が救われました。当時山の上部に建設したことに対して意見を述べた方も、口をつぐむというような状態でした。また、今年も豪雨災害が増えてます。大雨により病院が浸水し、電子カルテの情報が一瞬にして全てなくなってしまうといったことが、東京などでも発生しています。浸水が発生したときに命を守るだけではなく、患者さんが抱えている治療やデータを失ってしまうことはあってはならないと思います。先日、岩手河川国道事務所に行き、砂防ダムの建設に関して要望してまいりました。その中で、現在国内で発生している豪雨被害は約1.4倍、土砂災害は年間約1400件のうち約1割がすでに発生しているとのことでした。まずは日赤病院の現在の建設地域や移転推進地域である対岸を含めて、河川の幅や地形、土質などさまざまな観点から日赤さんには何とか移転を考えていただきたいと思っています。もしも豪雨災害が発生した場合になぜ移転しなかったのかということにならないように、未来に向けてしっかりとした医療あるいは災害対応について議論する必要があると思います。まずは滝沢に来るメリット、そして自衛隊があることそして、災害はもう二度と起こらないということではないということを前提に様々なことを話したいと思っています。国土交通省にもさまざまなお話をさせていただいています。四十四田ダムや御所ダムとも情報共有しながら、しっかりとした計画を日赤さんに提示し、滝沢市にくるメリットそして災害に強い岩手にしていきたいということを第一に、未来に向けて発信して作っていききたいと思います。(武田市長)</p> <p>総合計画と日赤の関係についてご説明します。総合計画につきましては現在策定を進めていて、8年間の大きな市の方向性を示す計画となっています。総合計画の基本構想の下に基本計画、基本計画の下に政策施策がありますが、日赤の誘致につきましては市長の公約ということもありますが、総合計画の中では地域医療の充実性の部分を日赤の誘致に関わらず今まで進めてきており、これからも大事な部分ですので地域医療の充実については政策として進めていくということになるかと思えます。また、個別の病院の誘致等につきましては、実現があった時点、目途が立った時点あるいはその政策施策の下の事業計画、個別の事業として載せる場合は十分ありますが、現在策定する第2次総合計画の中では個別の病院誘致について記載するというごさいません。(佐藤企画総務部長)</p>	企画政策課	市回答のとおり	
9	地域懇談	<p>中心市街地に医療機関が入るかもしれないと聞きましたが、そこに医療機関が入ると日赤病院の誘致が難しい状況になりませんか。</p>	<p>懇談会の中で、産婦人科など医療の充実というのはよく言われます。議会の中でも、医療モールを作る場合はどのような考え方で進めるか、滝沢市に現在ない病院を誘致する考えはないのか、というような意見をいただきました。市内には、産婦人科はなく、1人の先生が2か所の小児科をやっているところもあります。このことから民間の事業者にも、可能であれば誘致なども必要ではないかということをお話しました。また、私が考えている日赤病院というのは機能が異なります。北部の医療圏を見ると、とても悲惨な状態です。将来において、滝沢市も高齢化の課題があります。平均年齢が毎年上がっており、その部分で西北医師会からも様々なご意見をいただいています。やはり広い視野で滝沢を中心とどういった医療圏を考えて、北部の手薄な部分をどう補っていくか検討していきたいと考えています。(武田市長)</p>	企画政策課	市回答のとおり	

10	地域懇談	<p>大釜駅について、もっと活用できると思います。学童や高校生が勉強しやすい場所、市民が集まってお茶を飲むところありません。駅舎の2階に店舗などがあるところもあると聞きます。</p>	<p>現在、大釜駅前コミュニティセンターに学童が入っています。学童があることにより、どういった運営方針にしていくか、駅あるいはJRさんと協議する必要があります。まず学童があることによって、安全な子どもたちの育成というものを前提にしながら、さまざまな方策を考えていかなければならないと思っています。あわせて、地域の方々がコミュニティセンターの機能も共有していると思います。駅舎にあるコミュニティセンターの役割というものも含めて、新しい方向性などについて考えてみたいと思っています。まずは、活用方法を含めた地域の声を関係部でしっかりと受けとめながら、これからも考えていきたいと思っています。（武田市長）</p>	<p>児童福祉課 都市政策課 地域づくり推進課</p>	<p>【児童福祉課】 市回答のとおり</p> <p>【都市政策課】 市回答のとおり</p> <p>【地域づくり推進課】 大釜駅前コミュニティセンターについては、駅利用者とコミュニティセンター利用者の安全な歩行確保のため、劣化した入口の階段を複数年度で修繕する予定です。 大釜駅周辺の賑わいについては、地域の皆さんと一緒に考えてまいります。</p>	
----	------	---	---	-------------------------------------	---	--

⑤ 鵜飼地域づくり推進委員会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計 やさしさに包まれたというのは、市民目線からするとそんな市になりたいなと思えるすごく良いスローガンだと思います。 一方で、行政側から地域経済を支えるという視点はどうなんだろうかと思えます。 地域福祉についてはやさしさに包まれたというテーマの中で見えてきたり、地域経済ははたらく滝沢で見えてきたりは分かっていますが、それ以外の部分が見えにくい形になっていると思います。 例えば、経済的な活動をするためには道路がちゃんとしていないといけなから、では道路をどのように補修していくのかといったような経済的な部分が見える形で示していただくと良いかと思えます。	さまざまな懇談の場面で、若者定住には働く場が必要であるとか、法人税収入を伸ばすべきといったような意見をいただきます。企業の誘致は今後も進めていきますが、もっと注目していただきたいのは、本市の商工会に加入する会員がとも増えているということです。この点について、若い人たちに市内の企業の有益性やすばらしさを伝える活動を増やしていきたいです。 また、道路については、盛岡環状線の混雑等について、これまで県や国にお願いしてばかりでしたが、一緒になって話し合う場を設けて進めていこうとしていることもありますので、さまざまな形で皆様に報告していきたいと思っています。（武田市長）	企画政策課	市回答のとおり	
2	総計 自治会の事務局をやっています。毎年防犯灯と交通安全施設に対する要望を取りまとめて市へ提出していますが、非常に細かく対応していただき助かっています。ういった要望等にきめ細かく対応してもらえることがやさしさにつながるかと思っていますので、今後ともよろしくをお願いします。	お褒めの言葉をいただき大変ありがとうございます。 市の職員にも伝えますし、市の職員全体につなげていきたいと思えます。（武田市長）	企画政策課 防災防犯課	市回答のとおり	
3	総計 やさしさって何かと考えたときに、最近の子どもたちはあいさつが出来ないです。大人もそうですが、「おはようございます」と言っても元気がないです。一番身近な問題だと思えますので、学校で元気にあいさつするように教育していただきたいです。	あいさつというのは、人間関係を創っていく中で一番基礎となる大事なところだと思います。コロナやマスク着用の影響で、あいさつを交わしたり、表情を見たりということが少なくなってしまう、子どもの成長にとってもどうだろうか危惧しているところですが、市内の学校では、たくさん体験と、人と関わる活動を意識して今年度取り組んでいくところです。（太田教育長）	企画政策課 学校教育指導課	市回答のとおり	
4	総計 総合計画の説明というには資料が少ないのではないのでしょうか。また、数字が無いので抽象的で難しいな感じました。アンケート調査についても一部ではなく全部見たいです。客観的に数字で出せそうな項目の資料等を用いて、現状を把握することから作業が始まるのではないかと思います。 市役所窓口での説明は非常に良い印象を持っています。市として評価できるものと思えます。 やさしさというのをもちと数字に落とし、具体的に7～8年後にどう変わったのかの流れが分かるようにした方が良いかと思えます。 あいさつの話が出ていましたが、私も同感です。	資料については少し少ないですが、今日の限られた時間の中で説明とご意見を頂戴するため抽象的な話になってしまっていますが、皆様から様々な意見をいただきながら熟度を高めていきたいと考えているところです。 あいさつについては、朝、帰、感謝を伝える言葉などが素直に出るような滝沢市のための人間関係、地域づくりを進めていきたいと思っています。（武田市長） 今回の「やさしさ」のテーマというのは、大きな計画の中の理念にあたります。この下に基本計画、さらにその下には各分野の取組の中身や指標を具体的に設定していく予定です。（杉村企画政策課長）	企画政策課	市回答のとおり	
5	総計 以前チャグチャグ馬コの前夜祭をやっていました。すごい人数が集まった盛大なお祭りで、みんなで思い出してあときは良かったねって話をします。滝沢市を代表する祭りってないんですね。チャグチャグ馬コも青山過ぎれば盛岡ですし、市全体として、滝沢を代表するようなお祭りを作ってもらおうよう考えてもらいたいです。	まだ確かな数字ではありませんが、今年度のチャグチャグ馬コは過去最高の観覧者数であったと聞いています。ビッググループにも9,000人以上の方が来場されていたようです。伝統文化をしっかりと守っていききたいと思います。併せて、小中学生と話してきた中で、人のつながりから地域のお祭りに参加しているという話を聞きました。地域で確立できるように考えていきたいと考えています。（武田市長）	企画政策課 観光物産課	市回答のとおり	
6	総計 自治会活動の重要性をすごく感じています、自治会を脱退したいという方が増えてきています。地域との交流がなくなって、幸せを感じる事ができるのかが疑問です。いきいきサロンでも、足腰が丈夫なうちは歩いて参加されるのですが、歩けなくなると参加できず、孤立につながっている感じがします。寂しさを感じますし、どう対応していくのが自治会活動の中で課題になっています。	足が悪くなって移動手段がなくなってくると、外に出る機会が少なくなってくるという点はそのとおりであり、そういった方向へのサービスは市でも精一杯行っていますが、「あの人来なくなったよね」というのに気が付けるのは地域の方々だと思っています。民生委員さんとか、地域包括支援センターにお話をいただければ幸いです。地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています。（勝田健康福祉部長）	地域づくり推進課 地域包括支援センター	【地域づくり推進課】 自治会長研修会や役員研修会において、地域づくりのヒントが得られるよう、各自治会の取組事例を共有し、自治会同士の意見交換の場を創出しております。 地域のつながりや支え合いが育まれるよう、市が後押しできるようにしてまいります。 【地域包括支援センター】 市回答のとおり	

7	総計	滝沢ニュータウンのメインストリート近くに住んでいますが、今年チャグチャグ馬コのポスターがポストに入っていたが、添書やメモ書きが何もなかった。一言でもいいから、「今度チャグチャグ馬コやるのでポスター貼ってくださいね」とか、そういう挨拶が欲しかったです。やさしさというのであればその点についても考えてください。	今年度観光協会で例年の3倍ポスターを刷ったそうです。個別で観光協会の職員がポスティングしていたと話聞きました。それだけ市全体で盛り上げたいという意味で取り組んでいたことと思いますが、至らぬ点がありましたことは本当にすみませんでした。（武田市長）	観光物産課	実施者の一般社団法人滝沢市観光物産協会に情報提供させていただきました。ポスターには、事業者様に寄付をお願いする文書も添付していたようですが「添付漏れの可能性もあり申し訳ありません」とのことでした。	
8	地域懇談	新型コロナウイルス関連の話です。沖縄では医療が破綻していたり、西日本でもひっ迫しているようです。幸い東日本はそれほどですが、第5類に移行した状況で2点お願いがあります。 1点目は学校で感染拡大を防ぐため、メリハリをつけてマスク着用の指導をお願いします。 2点目は11歳以下のワクチン接種機会を増やしてください。市の方に話をすると、案内はしているが接種してくれないと言われますが、行政としての責任はどうしてワクチン接種した方が良いのか説明することにあると思います。	第5類に移行し、マスクは取ってもいいですよと指導はしていますが、まだまだ付けている状況です。また、この3年間で、マスクは命を守るため、大切な人を守るために付けることと指導してきましたので、子どもたちが安心して外せるようになるまでは、無理強いせず見守るようにしていきたいと思います。（太田教育長） 子どもたちのワクチン接種率ですが、用意していた枠が全て埋まる状況は現状少ないため、どちらかという情報発信の方に注力した方が良いのかと頭を悩ませているところです。ご意見は持ち帰り、考えさせていただきます。（勝田健康福祉部長）	学校教育指導課 健康推進課	【学校教育指導課】 市回答のとおり 【健康推進課】 新型コロナワクチン接種について、乳幼児・小児の初回接種は接種を受けるよう努める「努力義務」となっていますが、強制ではなく保護者の判断に基づいて受けていただくこととなり、引き続きワクチン接種に関する情報提供を行っていくことが重要と捉えております。	
9	地域懇談	菓子地区で市政懇談会に出られなかった方から代わりに聞いてきてくれと言われたのですが、盛岡市に無料で利用できる児童館がたくさんあるのに、滝沢市に無いのはどうですか。	私知っているのは過去の経緯の話ですが、盛岡市は昔学童の設置には比較的消極的だったはず。他方滝沢市は各学校に1つ学童を設置して子どもを預かるという作戦をとりました。ところが今になり、児童館の価値が高いという風に見られるようになってきて、結果として児童館が不足していると思われるようになってきたのだと思います。（正木会計管理者） 児童館は預かり時間が短いと思いますが、学童は夏休みも含めしっかりと対応するという点で役割が少し違うんだと思います。（武田市長）	児童福祉課	市回答のとおり	
10	地域懇談	※9関連 この質問の裏にあるのは、学童費が高いということです。一人10,000円いくらだと聞きました。保育料は所得に応じて負担が決まるのですが、学童費は一律なので負担感が非常にあるとのことでした。医療費負担についても、ほとんど生活保護世帯みたいな形にならないとタダにはならないし、土地が安いから滝沢市に家を建てたのに、こんなにお金がかかるなら盛岡に建てた方が良かったと言っているお母さんたちがたくさんいます。子どもまんなかを掲げるのであれば、せめて近隣市町村のレベルに合わせるくらいはしてほしいと思っています。	子どもまんなかを掲げていますが、私も若いお母さんに随分いわれました。議会の方でも少しお話ししましたが、所得制限についてはようやくなんとかできそうで、来年度に向けて準備を進めています。また、学童、保育園は共働き世帯が増えてきたことで利用率が上がってきています。待機児童の増加にもつながりますので、保育園や法人さんとさまざまな協議しながら考えていきたいと思っています。（武田市長）	児童福祉課	市回答のとおり	
11	地域懇談	子どもまんなかを公約に掲げた際、具体的に何をどうすると考えていましたか。今日の説明や資料では抽象的でわかりませんので、具体的にどうするんだという市長のメッセージを出した方が良いのではと思います。 また、チャグチャグ馬コの話ですが、最多というのは一過性のものではないかと危惧しています。馬コ祭りもそうですが、経済効果を見ていかなければならないのではないのでしょうか。せっかく市外からお客さんも来るので、この資源を活かしていく必要があると思います。	子育て世帯の方からいろいろな意見をいただいておりますが、これから滝沢市が抱える最も大きな問題は小中学校の建て替えです。昭和40～60年代に各地にどんどん小学校が出来てきましたが、新しく建て替えていくと何百億円とかかります。国の補助も十分ではありません。住民サービスも行わなければならないため、住民のみならず話し合いをしながら、将来を見据えて考えていかなければなりません。 チャグチャグ馬コの経済効果という点ですが、今回外国人観光客の方がとても多かったです。馬事文化というのは脈々と根付いているものだと思います。チャグチャグ馬コとあわせて、駒踊りやさまざまな伝統文化を地域の住民の方の楽しみのために、そして地域の文化を感じてもらうために、一生懸命工夫しながらやっていきたいと思っています。（武田市長）	児童福祉課 観光物産課	市回答のとおり	
12	地域懇談	市制が始まってから、何か特産物ということで、焼酎、ワイン、日本酒を作っていたと思いますが、今も作っていますか。予算を使ってやっているものですから、継続と展開を大事にしてほしいと思います。よほどの理由が無いとやめるべきではないと思います。 また、市の政策展開に当たった取組みの視点と言われても、純粋な頭ではなかなか出てきません。一歩目となる施策を小学生に考えてもらって、そこから糸をつなぎながら考えていくというのはどうでしょうか。もう一つ噛み砕いていただかないとわからないです。	日本酒は作っていますが、焼酎は原料となる芋を作る人がいなくなってきているため、製造をやめてしまいました。新たな品種を使ったり、米焼酎をさまざまな検討していきたいと思っています。また、お酒に合う食材についても、農家さんと連携しながら、加工も含め考えていきたいです。併せて、飲食店への効果的な展開も図っていきます。ワインももうすぐできます。 施策の細かい部分については総合計画審議会等でもしっかり説明しながら、みなさんにも改めて報告させていただきたいと思っています。（武田市長）	観光物産課 企画政策課	市回答のとおり	

⑥ 姥屋敷いきいき21推進委員会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計 幸福感というのは非常に曖昧な言葉で、人それぞれにはやはり幸福感というのは価値観の捉え方の関係もあって、非常に幅が広いんだろうと思います。私自身も幸福だと感じるのはやっぱり家族が健康で、仲良く暮らしているということだと思いますが、これが市全体ということになるといろんな幸福感があると思います。幸福感とはどうですかね？みたいな感じの行政的な話でもないし、やはりそういったことに捉われない、本来の行政という形の中でいかに幅広く実現できるか、それがある程度の割合で高まることによってかなり地域住民の幸福度というのは上がってくると思います。		企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。	
2	総計 自治会の中でも今、問題になっているわけですが、やはり投票に行きたいという人の気持ちというのは自分の地域に良い意味での愛着があるのが大前提です。私が滝沢について調べた時、素晴らしい歴史が滝沢には存在していると思いました。故きを温ねて新しきを知ると言う言葉があるわけですが、やはり滝沢の歴史を住民にきちっと教えていくべきだと思います。		選挙管理委員会事務局 企画政策課 文化振興課	【選挙管理委員会事務局】 各担当課と協議の上、今後の選挙運営に活かしていきたいと思 います。 【企画政策課】 いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。 【文化振興課】 郷土史「滝沢市の歩み」を活用した学習講座をはじめとする郷土理解推進事業について、今後も継続・推進していきます。	
3	総計 私達の地域は関わりが狭い範囲ですが、皆さんお互いにコミュニティがよくなされていると思っています。 学校問題というのが一番色々悩むところでもあるわけですが、保育所から学校までがこの地域にあって、みんなが同じように保育所から数えると10年は一緒にお父さんもお母さんもいろんな行事をやってきているからお互いが分かっていると思います。 消防なんかも姥屋敷にこれだけ協力してくれていると思っていますが、これもやはりそういった繋がりコミュニティであって、他には真似できないだろうと思っています。 そういう面では、本当にコミュニティというようなものが最も大切だと思っていますが、児童生徒が少なくなってきましたので、この辺も広げてくれる、また繋げていくにはどうすればいいのかなどはと思っています。	私も市長と話そうというので、姥屋敷の子どもたちと話をさせていただきました。そこで、優しさってなんだと思うって言ったら、ある女の子が「私は経済的にも恵まれてないと、相手に対しても優しくできない」と言っていました。 要は、誰もが自分が恵まれてないと相手のことまで手を差し伸べることができないという話を、姥屋敷中学校のある女の子が話してくれました。 そしてあとは「しっかりと子育て政策やってください、それが市のやる優しさです」と言われました。 子ども、そして本日いただいた意見というのは本当に参考になりますので、これからも生かしてまいりたいと思っています。（武田市長）	学校教育指導課	市回答のとおり	
4	総計 PTA会長をやらせていただいている者です。 自分がここで子育てして感じてるのは、姥屋敷は本当に地域との繋がりが強いことです。今息子が20歳になったんですけど、（息子が）何か地域のために恩返ししなきゃと思っていて、中学校を卒業して今県内の学校に行ってるんですけど、いずれ滝沢のためと思ってるみたいで、何かすごくこの地域を好きというか、自分はここに絶対戻らんかったという意思で今外に出てる感じなんです。 そういう意味で、ここで暮らしていて地域のやさしさに包まれているなど思っているし他の地域の子もそうだと思います。 この地域は特に顔が見えるので、どのおじいさん、おばあさんとか、お父さん、お母さんだっというのには常に見えて暮らしているの、そういう中ですごい愛着があって育つのが姥屋敷の強みなのかなと思います。		企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。	
5	総計 私は生まれがここ（姥屋敷）で大学が県外でまたここに自営業のために戻ってきたという生活を送っております。 地域の繋がりが滝沢村で生まれて市になって何が変わったかとか幸福度がどうかということに関しては、実際に市役所に行くと市議の広報は回ってきてますし、そういう情報として多分提供はたくさんされていると思うんですけど、実際生活に何が関わってくるかというと、子育ての窓口だったり、両親の書面の手続き等でやさしさは分かりやすさが必要かなと思います。 福祉バスの関係で実証実験が昨年行われたと思うんですけど、実際私の父は携帯を持っておらず、病院から帰ってくるのにも電話をしなければ使えなかったなど細かい点について、結局子どもが間に入って説明しないと理解ができないことがあったので、やさしさに関しては分かりやすさかなと思います。		企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。	

6	総計	子どもを育てることは、崖から落とすような教育だと私は思っています。というのは甘えさせると間違いなくろくなことはありません。この学校は非常に自然が厳しいです。ですが、この自然の中でもまれていくというのが逆に本人のためになってるのかなと思います。ただ、生徒数が少なく人間関係がこじれてしまう子もいて、大きな学校に行った時に耐えられなくなって脱落する子もいるのかなとおもいます。やさしさは強さだと思っています。		企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。	
7	総計	やさしさを感じるというのはやっぱり地域の皆様に見守っていただいているという実感を得られた時です。 (地域の方々) 学校行事があった時とかに学校に来ていただいて、そば作りなどで力を貸していただいたりとかで子ども達が地域の方々のことを知り、この人達と一緒に暮らしているんだなと実感しながら生活しているのがすごく良い環境だなと思っています。子ども達同士もお互いを思いやる気持ちみたいなのが小さい学校で限られた人間関係ですけど、その中でいざこざがあった時でもいいよ(大丈夫だよ)と相手を許せるようなやさしさがこの地域であり続けてほしいなと思います。		企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。	
8	地域懇談	15年ぐらい前に、学校のあり方っていうので市ともここでやり取りをして、その時は多分半分以上の方がこのままの状態でも存続させてほしいと話し合われた記憶があります。それからもう15年近く経って、最近コロナ禍っていうこともあってあまり保護者同士の交流とかもなかったので、本当に学校と保護者みたいな感じで、実際保護者だけの意見ってあんまり聞き取りができていないんですけど、多分聞くと15年前の話とは変わってくるのかなっていう感じが個人の考えとしてはあります。 春卒業したばかりの娘とも話したけども、「学校自体がなくなるのは嫌だ。何か形は残ってほしい。少ない人数だったけどすごく楽しかった。」みたいな話はしてて、でも続けるのはこのままの状態では自分の意見としては難しいのかなっていう思いはあります。 さっき、第2次総合計画の際、ご説明の中でもちょっとあったと思うんですけど、「多様な幸せがあるっていうことを認め合う。実現できる環境の整備をみんなで進めていくことが重要である。」ってあったんですけど、姥屋敷もここだけの問題で捉えるんじゃなくて、滝沢市には大きい学校も小さい学校もあってっていう捉え方をしたときに、姥屋敷の役割も何かできることがあるんじゃないかなって思います。ただ多分ここからもう抹消してしまうと、また滝沢の財産がなくなってしまうことをちょっと何時間かの間にちょっと考えてたんですけど、学区に関係なく滝沢全体で市P連の会長さんたちとも何か話を共有できるような機会があればいいのかなって思います。単純に学校少ないからなくすのか、統合するのかっていう話じゃなくて、姥屋敷や柳沢の学校を見て、市全体としてどういう活用方法があるのか。今風に言うとか多様性重視みたいな感じになればいいなって個人的には考えています。	おっしゃる通り、本当に岩手県に誇れるような姥屋敷の教育は成果を上げていると思います。 どこの学校どこの地域においても少子化というのが今大きいのしかかかっていて、滝沢市においてもそのそれぞれの学校の成り立ちは様々で、大規模校を超える過大規模校を解消するために新設校ができる形で取り組んできました。次は令和3年度から完全複式になっている姥屋敷小学校、それから柳沢小学校をどのようにしてあげたらいいのかが、今滝沢市の課題だと感じています。 いずれ学校については、地域の皆さんや、今学校に子どもたちを呼んでいる皆さんにとって、どういうことを望まれているのか話し合いの機会を設けることがまず重要であるということが出されています。 ですから、それぞれの地域に出向き説明し、考えていかなくてはいいかと思っています。 そしてその中で説明する時も、保護者会が最初がいいのか、保護者さんとこれから学校に入るお子さんを抱えている子育て世代とまず話をしながら説明して、そして地域の方々も一緒にみんなが参加できる日程をPTA会長さんと詰めていって話し合いを1回でなく、進めなければいけないと思っています。 教育委員会も準備しているところです。まず、統合ありき、まず廃校なんだとか、乱暴に進めるつもりはありません。これから、学校の在り方について、考える機会を設定していただきたいと思っています。(太田教育長)	教育総務課	令和3年度から4年度にかけて、「本市の学校教育の在り方」について総合的な検討を行うために、有識者による検討委員会を設置し、市内小中学校の子ども達にとってより良い教育環境について協議を重ねてまいりました。検討委員会による報告書が令和5年3月に市教委員会に提出されましたので、今後、市教育委員会として報告書の内容についての説明と地域の方々の意向を伺いながら、望ましい学校教育について検討を進めてまいります。	
9	地域懇談	学校の問題ですけども、あくまでもPTAの皆さんの意見が最大の発祥元かと思っます。それで野球だと交流戦とかっていうのがありますが、自分がPTA会長のときに他の1クラスとか2クラスの学校の生徒がここに来て遊んだり、一緒に野外活動を今も一緒にやったことがあります。 今都会で残虐な事件結構あります。あれって人間と人間のいがみ合っているか、優しさに欠乏しているというか、そういった意味でこの学校は交流戦とかのような交流学習ですか、そういうものをもし小学校の時代でもやれば、この学校が少しでも残れることもあるだろうと思います。あるいは子が完全になくなっても、山に行くと、山の教室で今日は1日勉強するとか、他の学校から全員来てこっちでやるとかっていう使い方もあるのかなと思います。自然との交わりっていうのも、やはり大事にコンクリート、町、車、そういうばっかしじゃなくてこういうところに来て、やるっていうのも一つの教育の場になるのではないかなって思っます。	交流活動で様々な子ども同士の交流も含めて、そして地域の良さを改めて感じるような機会など、すごく素敵な意見を頂戴して頂いて嬉しく思いながら聞かせていただきました。 せっかくの機会なので本当にそういうことを皆さんからどんどんお聞きしたいなと思います。今すぐではありませんが、ぜひまた機会を改めますのでよろしくお願いします。(太田教育長)	学校教育指導課	市回答のとおり	

10	地域懇談	<p>マイロードは柳村純一村長が自分たちでやれって言うてくれたことがきっかけで、あそこまで我々がやったことなんです。だからあの言葉を出さなかったら職員の人や議員さんではもう絶対その言葉は出してもらえなかったと思います。それと、スマートインターについて、着前社社に結ぶっていうことをやらなかったら何のためのスマートインターが分からなくなります。市長さんでないと私は、やはりいろいろ駄目だと思います。日赤であろうと何であろうと、やるだけやる。駄目でも仕方ない。ということで思い切って動くということが私は大切なことだと思います。</p> <p>是非柳村純一村長のように大きくどんとしたものをやってほしいと思います。</p>	<p>どういった手法があるのか。そしてあと本当に実現するのであれば、何をどうクリアすればできるのか。その部分を我々もしっかりと考えていって思っていました。</p> <p>この道路のことを地域の皆さんが困ってることとしてこれからどういった未来を作っていくかっていうところでは、一緒になってこれからも話し合いをして考えていきたいと思ってましたので、どうぞよろしくお願ひいたします。（武田市長）</p>	企画政策課	市回答のとおり	
11	地域懇談	<p>鬼越洞畑線の道路について、全国から人が来るんですが「網張」を入れ、ナビに押し込むとそこの道路が表示されるそうです。大型連休中では京都とか岐阜から車がどんどん来るので、あそこでバンクして高速に乗って大きな事故があったら大変なことになるので、そういったことも考えて、舗装してほしいです。</p>	<p>補助事業で駄目であれば単費ってということで、市の財源を使って整備するという方法もあるかと思いますが、まだまだその議論の余地はあるのではないかなというふうに思います。もう少し皆様とどれが一番ベストなのか、あるいはベターなのかの話し合いを重ねていかなければならないのではないかなというふうに思います。（長内都市整備部長）</p>	道路課	市回答のとおり	
12	地域懇談	<p>市自体が、お金をおとしていただくような行動を仕入れてやっていかないといけないと思います。</p> <p>稼げるといふまでには至っていないのかなというふうに感じてましたが観光云々と考えると、やっぱりチャグチャグ馬コに活かすとか、あるいはその他自然景観をいかに生かしてお金を稼ぐとか、そういった部分でもやっぱり、柳沢方面から姥屋敷方面しかもう滝沢はないんじゃないのかなと思います。新しい斬新なアイデアを募る形でやっぱり滝沢もそろそろ観光の部分についても具体的な行動をやるべきじゃないかなと思います。</p>	<p>我々も観光って考えたときに、ただただ車で来てゴミを落としていくってことじゃなくて、いかにお金を落とすかというのを考えなきゃならないかなって思います。</p> <p>落としていく知恵とその落としていくこの財布を我々と一緒に行動しながら、まさにこの姥屋敷の素晴らしい景観であるとかっていうところを生かして、それをどこかで落としていくような仕組みっていうのを作っていきたいと思ってます。ぜひいろいろな知恵やアイデア、そして受け口っていうところを、一緒になってやっていければと思ってますので、よろしくお願ひいたします。（木下経済産業部長）</p> <p>観光に関しては、私もこの豊かな自然を見せないわけにはいかなっていうふうに思っていました。今の公約にもアドベンチャートラベルと挙げさせていただきましたが、それはもう本当に姥屋敷地区を想定した観光であります。</p> <p>まずはいろんな考え方そして多様な考え方で、いろんな人たちに認められるこの姥屋敷あるいは滝沢の観光というのを作っていけたらいいなと思ってます。</p> <p>泊まる場所がないことも一つの魅力なのかもしれませんし、いろんな意味で全てを便利にしてしまえば、どこでも変わらない地域になってしまうのかなとも思ってますし、しかしその不便で豊かなものをしっかりと情報発信していくことが大事なんだろうなと思ってました。</p> <p>まずはこの地域の皆さんが頑張っていただけのこと、そして皆さんが身近でできることをぜひ一緒になって考えて、そして対応していきたいと思ってました。1人1人、みんなのために私も頑張っていきます。（武田市長）</p>	観光物産課	市回答のとおり	

⑦ やなぎさわ地域づくり懇談会

No.		質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計	優しさを感じることをここで言う意味がわかりません。	この第2次滝沢市総合計画は、我々市だけで考えた計画にならないよう、皆さんから「やさしさ」をテーマに話を聞いているものです。一緒になって作っていききたいと思い、こうして地域を歩いています。(武田市長)	企画政策課	市回答のとおり	
2	総計	今柳沢は子どもがととも減ってます。保育園も、他地域から皆さんこちらに通ってきて、子どもたちが満たされているような状況だと思います。学校も、小中学校合わせて20人いないと思います。そうした中、先日市外の保育園で正規職員として働く知人が仕事を辞めました。非正規職員の割合が多く、正規職員の負担が多かったことが理由のようです。保育園で働く人たちに、ある程度の収入があってしっかり続けて頑張っていけるよう、市が補助をするなど必要だと思います。あとは具体的な政策をとるよう、問題を導き出して、調査をして、話し合っ、何をどのように変えたら良いかみんなで相談するなど、そうしたことがどのくらいされているのかを聞きたいです。そのように具体的にやるのが優しさに繋がっていくと私は思っています。	保育士の確保は全国的な課題であり、市も同様です。市の政策としては、保育士が借りたアパート家賃の補助をし、滝沢の保育園で働いていただくという制度を実施しています。また、国の方でも処遇改善として給与のアップを進めていますので、そういった制度も活用しながら、市の子育て政策を進めているという状況です。(佐藤企画総務部長) 他にも、保育士の仕事においては様々な申請書類等を出す必要があり、その部分の簡素化のためにも、市内のIT関係の会社が、見守りから書類の簡素化などまでできるようなシステムを展開しています。(武田市長)	児童福祉課	市回答のとおり	
3	地域懇談	柳沢の保育園でも、滝沢全体の保育園でもよいのですが、非正規の人と正規の人の割合を具体的に聞きたいです。	保育所の数としては18か所です。ほか、幼稚園が5園、うち認定こども園が4園となっています。正規と非正規の職員ですが、感覚的なところで申し訳ありませんが、6割が正規で4割が非正規であると考えています。具体的な数値については、改めて会長を通じ回答させていただきます。(佐藤企画総務部長)	児童福祉課	令和5年4月時点での保育士の割合について、柳沢保育園は、正規が57%、非正規が43%となっており、市内全体では、正規が76%、非正規が24%となっております。	
4	総計	ついこの間まで「幸福とは」ということで、突然幸福が出てきたと思うと今度は優しさです。優しさと言われても、受け取り方は1人ずつ違います。大きいテーマなので、幸福感とのつながりなど、もう少し具体的に、市がこのような考えで進んでいきたいというようなことを示していただきたいです。	本日の場合はテーマを大きく捉えて、色々な意見を出し、どうすることが考えられるか広い方向で考える機会としています。頂いた意見は、実際の行政の政策や施策として取りまとめ、そういう方向性に向けて、このようなことを実際やっていくというのを、来年度のはじめに示したいと、現在担当で考えています。 今までの幸福感が優しさになった経緯については、滝沢市のこれまでの取り組みを通して市が追い求めていく将来像は、「誰もが幸福を実感できる」というものですが、これは変わりません。これまでの8年間は、その基盤づくりをしてきたもので、コロナ禍で人とのつながりが減少したことを受け、今一度、絆の再構築などの行政のサポートを実施していくときのキャッチフレーズとして、優しさや、優しさに包まれた地域社会をつくっていく8年間にしたいという思いです。そのため、皆さんに意見を伺いながら、広く考えていきたいと思っています。(福井総括主査)	企画政策課	市回答のとおり	
5	総計	「つながる滝沢」とありますが、私はデジタル社会の落ちこぼれで未だにガラケーです。ところが最近テレビや広報ではみんな詳しいことはQRコードでとなっており、優しくない社会だなと思っています。分かりやすさが「やさしさ」につながるのではないのでしょうか。そういう人たちも落ちこぼれないような「つながる市」であってほしいと思いました。		企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。	
6	総計	「学ぶ滝沢」や「こどもまんなか滝沢」、「働く滝沢」というのも、事例を含めてこういうことを考えていますなど、何か具体的なことで話をしてもらえると私たちも考えがまとまりやすいと思います。まだどうかと聞かれてもしっかり答えられません。		企画政策課	市民の皆さんからいただきました御意見も参考としながら現在、第2次滝沢市総合計画の策定を進めています。具体的な取組施策等についても今年度策定し、来年度の市政懇談会等においても御説明する予定としています。	

7	地域懇談	県道278号について、子どもが事故で亡くなったりするなどしているため、歩道を付けてもらいたいです。	安心、安全といったような視点も優しさとして広くお伺いしています。どこまでやるのかという点では、これから政策施策を検討する中で、長期的に計画作ってということになると思います。(福井総括主査) 県道の計画に関しましては、市、県、国交省の3者が一緒になって、様々道路の見直しをしています。こちらから要望を上げるだけでなく、どのようにすすめていくべきかの話し合いもしています。全てが1回にできるわけではないため、今回の歩道の話も今後、話していきたいと思っています。(武田市長)	道路課	市回答のとおり	
8	総計	ここに住んで67年になりますが、保育園から声をかけていただいて、小さな田んぼを作っています。その後、小学3年生、4年生になった子どもから、「保育園でお世話になりました」と言葉をかけてくださいます。何かそこが優しさだと感じます。子どもたちが「おばあちゃん大丈夫」と声を掛けてくれるなど、それがこの地区にはあると思っています。普段の生活の中で、まち作りの中で、いろんな活動の中で、日曜市の中で、それが優しさだと思います。	ほかの懇談会でも、地域コミュニティとあいさつについて話をたくさん頂いています。例えば、スクールガードと子どもの相互のあいさつが、お互いに本当に楽しい、それが優しさだという意見もありました。そして人と人とのつながる場作りというのが、まさに計画の中に盛り込んでいかなければと考えていました。(福井総括主査)	企画政策課	市回答のとおり	
9	地域懇談	どんな活動をしていても、柳沢はとても活発に活動しているところではないかと思っています。例えばほにほに柳沢があって、朝市があって、過去には地域通貨をやるなど、いろんな試しをやってきています。ですが、担い手がおらず、このまちづくり委員会にもメンバーとして30代40代くらいの人たちがなかなか入ってきません。声はかけていますが、やはり仕事も忙しいなど、地域に目が向いていないというのをとても感じています。このまま私たちがただただ活動していても、先はないだろうというところで、担い手について、問題視しています。	地域の次の担い手を育てると、地域の活動などをみんなで一緒に後押ししていきたいとなり、それが一つの形になっていくと思います。例えば地域のお祭りなどについて、中学生からは地域の祭りにもしっかり出て、そして地域の皆さんと関わって、一緒になって守っていききたいというような話も頂きました。担い手というのは、一緒に参加して活動することが、次の世代を育てていくことにつながると思います。まずはそうした活動の手伝いについて、市側としても、どういったことができるのか検討していきます。お祭りだけではなく、ボランティア活動や様々な地域の計画の話し合いなどに我々も一緒になって関わり合いながらやっていきたいと思っています。また、今日は鷹巣子市に行ってきたのですが、子どもから大人までみんなが参加してそのお祭りに関わってやっていました。他の地域からも出店者を呼んでやっているようでした。いろいろな手法があるかと思いますが、ぜひほかの地域のお祭りにも一緒になって見ると、また違う視点が出てくると思います。そうすることによって、この地域で一緒になってやれることがまたさらに増えると思います。(武田市長)	地域づくり推進課	市回答のとおり	
10	地域懇談	昨年タクシー利用の話が出ていましたが、2回ほど集まった中で、最初のときは皆さんで試験的に利用して、利用する方々に対してカードを渡したとのこと。その後、私は柳沢自治会としての説明会があると思っていましたが、2回目の集まりは試験的に利用された方々だけを集めて説明会をしたとのことでした。まだはっきりとした試験の結果が出ておらず、結局どうなったのだろうかという気持ちで私も思っていました。タクシー利用について、どのようになっているのか考え方をお願いしたいと思います。	以前庁舎に来ていただいて、私がお話伺って、都市整備部の方に伝えただころでございます。公共交通については、ほかの市政懇談会でも「公共交通があれば優しいまちだよ」という話も出ています。高齢化が進んでいくと、今のような交通体系ではいけないということで、昨年度、柳沢地区をモデル地区として実証実験をさせていただいたところ。自治会にも今年説明会を開くということは都市整備部から伺っています。今後地域の方と話を進め、公共交通の在り方を相談させていただきながら、一緒になって考えていきたいということも伺っていますので、その際はよろしくお願いたします。(佐藤企画総務部長)	都市政策課	市内のモデル地区における無料タクシーを利用した実証実験運行については、利用者が少なかったものの、「相乗りへの抵抗感がないこと」や「地域でのたすけあいへの協力」に対する意見が華がったことから、今年度は地域住民とワークショップを行い、地域と一緒に必要かつ持続可能な交通サービスについて検討してまいります。	
11	地域懇談	去年か一昨年くらいから役所の方で道路を除草する機械を買ったと思いますが、自治会としては昔から年に1回は刈っており、その間に何回かその機械でやっているのを見ている。しかし、下の十字路から清掃センターまでではなく、大きい道路までやっていただければ本当にありがたいと思っています。	トラクターのアタッチメントとして除草するものを市で持っています。おっしゃった箇所については、市で刈っているのか、地域の皆さんにお願いしているのか、業者に委託しているのか、また、その機械を使って、どこをどのような基準でやっているのかは今お答えできないので、確認した上で回答します。(岡田副市長)	道路課	要望内容につきまして、後日確認させていただきます。	

12	総計 地域懇談	草が伸びていて、子どもの通学が危なく、県に言ったところ草刈りしていただけたらとこのことで待っていました。看板も壊れていますし、危ないのをお願いしますと言ったところ、その看板の周りだけが草刈りされていました。私は我慢できず自分で市道と県道を草刈りしました。そのとき、除雪車のような市の草刈りの車が来たので、途中までやっていたが「後はお願います」と言うと、県道なのでやりませんとのことでした。トラックもすれすれで通っていく道です。 地域の優しさという、人は安心や安定を求めて動いているものだと思いますが、個人によって感じる優しさは違います。人に優しくできる状態というのは、自分が安心して生きているときでないと、人には優しくできません。私は3年前に引っ越してきて、朝市などにも出ていますが、地域の方がすごくよくしてくれて、そうした優しさを人から多く感じ、感謝しています。市としてその優しさを感じてもらうには、市の職員が何ができるのか考えてもらえたらと思います。担い手の話も出ましたが、地域に目を向ける余裕がないのだと思います。やりたいという気持ちで参加しないと負担になってしまいます。私は30代ですが、全部やったとすると、楽しみで来たはずが余裕をなくし、そうした状況は元も子もないものだと思います。お祭りにしても、やりたい人が集まってきたら良いです。	「市道だから市がやりました、県道は県でないとできません」というのは一般論で当然の話ですが、そのときに市の職員は、県に伝えるという役目もあると思います。市民の皆さんが困っていることを管理者に伝えるということもできると思います。 一本木の地域づくり活動で、保護者や地域の皆さんが、柳沢小中学校の通りをみんなで草刈りをするという行事に、私も職員として一緒に参加しました。学校の先生方も来ていただくなど輪が広がっていき、何か月かに一度は、保護者の皆さんも来て自分たちの子どもを見守って、見守る目をいっぱい増やしていこうという流れがありました。行政も一緒に入り、そうした輪を広げながらともに行動するなど、地域をつくっていくことが、みんなに見守られて優しいと感じる、それが直接的でなくても、そうした基盤ができていくことを社会として目指していければというのが今回の計画のテーマです。今の話を参考させていただきながら、後は何なりと道路課の方にも言っていたら結構ですので、よろしくをお願いします。（岡田副市長）	企画政策課 道路課	市回答のとおり	
13	地域懇談	卯遠坂の市道で、毎年道路課に言っても除雪してくれません。結局今は自分が200mをトラクターで除雪しています。自分が動けなくなったときのことを考えて相談に行っています。	具体的な箇所を確認させていただき、明確な理由を説明できるようにします。（岡田副市長）	道路課	要望内容につきまして、後日確認させていただきます。	
14	地域懇談	私の夫は酪農の仕事をしていますが、トラクターで夜間から長時間にわたり市道の除雪をすることが年に何度かあります。みんなで分担すればいいのかもしれませんが、やれる人は限られているので、本当に安心して暮らすためには、子どもたちが安心して通学するためには、除雪はとても重要なことなので、しっかり考えてやってほしいです。		道路課	要望内容につきまして、後日確認させていただきます。	
15	地域懇談	西和賀町の知り合いが、町のお取組をJICAが編集した映像を送ってきました。市の政策として、市民がどう関わるか、市職員や医療現場がどう関わるか、総合的に今の問題を調査して実行した様子が映っていました。全体でその問題をどう解決するかということを考えてほしいので、市の人にも見てほしいです。	動画のURLを教えていただけたらと思います。（福井総括主査）	企画政策課	動画【誰も取り残さない村づくり（命を未来につなぐ地域保健）】拝見しました。西和賀町で取り組んでいる結の精神を踏まえた健康づくりを参考しながら、市民主体による地域づくり活動の展開を図ってまいりたいと考えています。	6月27日

⑧ 大釜地域づくり推進会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計	やさしさとは逆の話になるかもしれませんが、3年ほど前に水道料金の徴収方法が変わり、これまで市で行っていた業務を委託することで3000万円程利益が出たというような記事を読みましたが、その分市民から取ったということですね。以前は水道の漏れや操作ミスで急に利用料が増えた際には、前年の同月と同じ料金にしてくれるとか修正してくれていたと思いますが、委託してからは全て取られてしまいます。みどり団地で本管を太いものに変えたとき、急に圧力が高くなって漏れが多くなったことがあります。それで料金が急に高くなるっていうのはちょっと納得いきません。また、今は料金徴収のみ委託しているかと思いますが、水道全体の管理も含めて民営化することに関して心配しています。市で管理しておかないといざというときに大変になると思います。	水道総務課	市回答のとおり	
		まず民営化は考えていません。あくまでも水道メーターの検針と料金の徴収を外部委託しているところです。議会からもいろいろと質問があり、技術的な連携は考えるところですが、おっしゃるような民営化という計画は持っておりません。また、料金の徴収に関しては基本的には変わりありません。個人が予期せぬところで漏水があったという場合には通常の料金に合わせて徴収していますが、一方で個人の財産に入った方での操作誤り等によってかかってしまった料金はそのとおり頂戴する形としております。本日上下水道部長が出席しておりませんので、回答に間違いがあれば改めて会長を通じて回答させていただきます。(岡田副市長)			
		補足ですが、管の更新、長寿命化を見据えて、利益の部分は基金に積み上げるなど、将来の安定した経営に向けて、また、皆さんの信用が失墜することの無いようしっかりとやっております。(武田市長)			
2	総計	やさしさに包まれたまちにつながると思いますが、私が心がけているのは挨拶をすることです。朝子どもたちにおはよう、いってらっしゃいと声をかけるようにしています。声をかけて返事が返ってくるということが希望につながるかなと思います。ご時世柄なかなか声をかけると警戒されてしまうこともあります。自分の住んでいる地域や周りの人とは声を掛け合えるようになればいいなと思いつつ取り組んでいるところです。	企画政策課 学校教育指導課	市回答のとおり	
		人間関係を作っていく一番のスタートは、にこやかに挨拶を交し合うことだと思います。今の子どもたちは顔を見知った相手だと安心して声が出せるけれど、そうでないと声が出なかつたりということもあります。声をかけると不審者扱いされてしまうような、ちょっと残念な状況ではありますが、人とのつながりから、安心して挨拶を交わしていけるよう子どもたちに指導していきますし、地域同士の顔が見えるよう、皆様にも積極的に挨拶をしていただければありがたいなと思います。(太田教育長)			
		盛岡大学で総合計画の話をした際、教育実習で訪れた母校のスクールガードの方が自分を覚えていてくれたことがとても嬉しかったという話を聞きました。また、そのこともあり是非滝沢市で教員になりたいと思ったという話を聞き、お互いに挨拶を交わせる状態が、滝沢で暮らしたいということまでつながることを認識しました。(武田市長)			
3	総計	ワクチン接種の件で、最近国会で、厚生労働省がワクチン接種と非接種の数のデータを改ざんしていたという情報を見ました。イギリスでも同様の事例があり大問題になりましたが、日本ではテレビでも新聞でも報道していません。ワクチンを2回3回接種した人がコロナに感染しやすい、重篤化しやすいというデータが世界中で出ているそうです。それを厚生労働省は、コロナに感染した人を調査して、ワクチンを打っていない人が多く感染しているし重篤化しているという世界と真逆の発表をしています。しかし、ワクチンを打った日があきらかにわかっていない人は打っていないものとカウントしている調査のようで、当然打っていない人の方が感染確率が高くなっています。私が心配するのは、若い人でワクチンを打つと重篤化する人がいて、更には将来子どもがでなくなる。これは病理解剖の結果わかっていることなのですが、全く報道されません。有志医師団で研究し発表している人たちもいます。ガセ情報かもしれませんが、静岡県浜松市ではデータを出しています。市の方々には、若い人たち、将来のために考えて対応していただきたいです。	健康推進課	市回答のとおり	
		ワクチン接種に関しては、県議時代にもさまざまな病院の先生や大学教授の方々から意見を頂戴したこともありますが、我々行政が皆さんに対して行うことは、国から指示を受け、正しい情報をお伝えすることだと考えています。子どものワクチン接種にしてもそうですが、個々の判断で決めていただくことであり、ただ我々は国が出した情報をしっかりとお伝えするのが役目だと思っています。一番は感染しないこと、また感染したらしっかりと休んでうつさないようにすることだと思います。(武田市長)			
4	総計	※3再質問 静岡県浜松市の例も嘘ではありません。世界の状況も変わってきていますし、考えなければならぬと思います。厚生労働省が本当に改ざんしていたとすれば大問題ですが、日本では全然問題になっていませんので、違った情報も見ながら判断をお願いします。名だたる大学の教授も発信している情報です。そういったところも見ながら少しでも頭の中に入れておいていただきたいです。	企画政策課 健康推進課	市回答のとおり	
		さまざまな情報があるということは私も把握しております。どれが正しいとか間違っているとかというのは決まってからしっかりと発信していきます。(武田市長)			
5	総計	挨拶の話が出ていましたが、人を知ることが大事だと思います。近所の人を知ることがまず最初だと思います。そこで、さまざまな自治会活動や地域の集まりに積極的に参加して、隣近所の人と顔なじみになって、みんなで助け合っていけたらいいなと思います。	企画政策課 地域づくり推進課	市回答のとおり	
		「市長と話そう」で中学校を訪れた際、この地域を挨拶世界一の地域にするとおっしゃっていました。それだけ子どもたちは、スクールガードの皆さんや地域の皆さんから声をかけてもらっていることに感謝していると思いますし、そういった雰囲気を作っていきたいと思っています。(武田市長)			

6	総計	<p>来年、再来年の話ではありませんが、将来的にこういった地域になっていければという話です。本日参加されている年配の方々の中でも多世帯で同居されている方も多いのではないかと思います。年寄りだけ、若い人だけの世帯もあります。自分のすぐ近くに子どもたちが住んでいるという地域は、子どもからお年寄りまでのつながりが普段から持っており、スクールガードにしても、自分の孫のように思いながら子どもたちの見守りをしているというのが実態だと思っています。将来的に子どもたちへのさまざまな政策を展開しながら、子どもを産み育てやすい市となるよう、助成等を検討いただきたいと思います。今後、例えば子育てのために敷地の一角を使って家を建てるという計画を相談した場合には、市でバックアップしますよというようなことも検討いただきたいと思っています。</p>	<p>例えば敷地内に新たに若い世代の家を建てるというような場合には、申請を受けながら、浄化槽の設置や土側溝の勾配の話等があればしっかりと対応しながら、建てやすい環境を用意していきたいと思っています。それぞれの財産の取得にはできることとできないことがありますので、不公平感がないように対応していきます。若い世代の方々に残ってもらえ、あるいは他市町村から移り住んでもらえるように、子どもの医療費助成等も工夫しながら、滝沢市に住んでよかったと思ってもらえるようなまちづくりを進めていきたいと思っています。（武田市長）</p>	企画政策課	市回答のとおり	
7	地域懇談	<p>みどり団地は老朽化が進んでいて、お年寄りもかなり多くなっています。長期的な問題になっているのが、下水と排水の問題です。下水については市に相談しましたが、採算が合わないということで、現在の浸透式の浄化槽をメンテナンスしながら続けていかなければならないと思いますが、長期的に検討いただきたいです。排水に関して、市道脇の排水U字溝のところはどうしても溜まってしまったりと、夏場はかなり臭いです。昔は自分たちで清掃していましたが、お年寄りが増え自分たちでできるような状態ではなくなってきていますので、U字溝の整備をお願いしたいと思います。</p>	<p>本日上水道部長が不在ですので、U字溝の場所については後で教えていただければお伝えします。下水道については、市街化区域だけというように決めておりますことと、人口的な面での採算もあり、それを外れてというのはなかなか難しいかと思いますが、いずれ担当部長につないでおきます。（武田市長）</p>	下水道課 道路課	<p>【下水道課】市回答のとおり</p> <p>【道路課】現場にて、みどり団地の会長様と内容確認及び協議を実施しました。今後の対応について、説明し納得していただきました。</p>	【道路課】7月7日
8	地域懇談	<p>2点ほどお願いがあります。令和5年度のコミュニティ事業にAEDの設置を要望しましたが、採択されませんでした。ただ、3月の議会だよりを見ますと、地区コミュニティセンターへのAEDの設置は必要と考えているというように載っているのですが、今年度の設置と考えてよろしいでしょうか。もう1点は安全対策に関する要望として、雨水対策工事がこの前完了したばかりですが、46号線の水門の用水路のところに安全柵が必要ではないかと自治会で話が出ました。盛岡西国道維持出張所の方と解決策について話し合いを持ちましたが、持ち帰って検討するという返事をいただいて以降、未だに返事はもらえていません。先日電話で聞いてみましたが、返事はいつになるか分からないと言われました。滝沢市としても安全対策として、危険な用水路がある場合に対応しただけではないでしょうか。</p>	<p>AEDに関しては段階的にコミュニティ施設もやっていますが、まずは小学校から進めているところです。安全柵については、調べてお知らせしたいと思います。いずれ安全対策として我々もしっかりと調べて、河川国道事務所に連絡します。（武田市長）</p>	地域づくり推進課 河川課	<p>【地域づくり推進課】地区コミュニティセンターへのAEDの設置は、令和6年度での設置を目指します。</p> <p>【河川課】管理者に連絡し対策を調整しました。</p>	【河川課】7月4日、7月11日
9	地域懇談	<p>大釜駅を中心とした開発について、現在ビッググループ周辺の開発を進めていると広報で拝見しました。今人口がどこも減っている状況であって、例えば太田地区はすごく住宅が増えています。そこで、大釜駅の北側といいますか、市役所側の開発というのを長期的な視点で考えていただきたいです。駅というのはすごく便利ですので、それを活かして魅力ある地域づくりをしていただきたいです。それが若い方々の定住というものにもつながるのではないかと思います。</p>	<p>大釜駅の北側はすごく可能性のある土地だと思っています。私の公約の件でお騒がせしていますが、それだけではないです。鉄道があることの価値をしっかり伸ばしたいと考えています。前潟駅ができたことで価値が高まっていることもありますので、大釜駅の価値を高められるように今後も考えていきます。（武田市長）</p>	都市政策課	市回答のとおり	
10	地域懇談	<p>篠木小学校が150周年ということで、私も記念の実行委員会参加しておりますが、新聞に広告を出してはどうかという話のときに、何十周年単位の広告は全て学校でやりなさいよという話でした。確かにそうなんですが、篠木小学校の150周年というのは、滝沢市の教育の150年でもあります。そういったことを踏まえ、1つの学校で対応する話ではないのではないかと話をしてしています。お金がかかることも分かりますが、市の方でも検討いただけないでしょうか。</p>	<p>教育委員会としても市で一番古い歴史のある篠木小学校が150周年を迎えることを本当に誇りに思っています。実行委員会や校長先生とも話し合いをしておりますが、金銭面でどうこう以上に、どのようにしたら市の中で他の範となるような150周年を迎えられるかについて、一緒に知恵を絞っているところです。子どもたちが地域に愛着を持てるような取組みにしていきたいと思っております。（太田教育長）</p>	教育総務課	篠木小学校150周年記念行事にあたり、過去資料の提供や式典への参加など、市教育委員会として協力してまいります。	
11	地域懇談	<p>大釜南地区は駅があり、盛岡駅にも近くて、地理的条件に恵まれています。よそから来て、分譲しているところはないかと聞かれたりもします。たまに空き地が出たとなっても、あっという間に買い手がつかず、今はよそから来て住みたいくても住める場所が無いという状況です。今回の総合計画策定にあたっては、その辺も留意いただいて検討していただきたいです。</p>	<p>先程の大釜駅周辺の開発の話もそうですが、それだけ人気のある、利用価値のある地域であるということは我々も認識しています。今後の土地利用計画などさまざまな面で見越した政策として考えていきたいと思っております。（武田市長）</p>	企画政策課 都市政策課	市回答のとおり	
12	地域懇談	<p>要望と現状について教えていただきたいのですが、看護短大が引っ越してから久しく時間が経過しております。あれだけ立派な建物も、コロナ禍になって何も感じなくなったように思うかもしれませんが、生徒が通っているときには活気があったと思っています。何かしら市として建物の利用方法について所有者から情報等があればお知らせいただきたいです。</p>	<p>コロナ禍前はあるところと話をしているという旨を看護短大から聞いたりしましたが、やはりコロナの状況の中で少し変化があるようです。情報を確認してお知らせしたいと思っています。（木下経済産業部長）</p> <p>看護短大の評価を管理団体である岩手女子高自身で再評価し値段決めしているところですが、買う方の要望する額に収まるかどうかというところ。市民の話になるので、我々は状況を見守るしかないところですが、行政ができることとして相談があればつなぐ、地域の活気につながるよう考えることと思っています。（武田市長）</p>	企画政策課	市回答のとおり	

⑨ 室小路地域づくり懇談会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計 2点お話しします。 小学校や中学校、公民館等の公共施設に生理用品を常備してほしいということを昨年来要望していますが、検討するという話だけで何も対応してもらえていない。小・中学校、公共施設には事務室に生理用品を常備して、希望する人に無料で配布するというのがやさしさのある自治体だと思います。子どもだけでなく働く女性に対してもそうです。 2つ目は、日赤病院の誘致を公約に掲げていますが、選挙後9か月が経っても何もしていないのではないですか。公約というのは任期のうちに達成することを掲げるものと思っていますが、ある新聞で15年くらいかかる計画であるとの記事を見ました。そうであれば、選挙のときに15年かかる計画であることを示さないと、市民は任期のうちに取り組むものだと捉えていると思います。その点について説明をお願いします。	生理用品に関しては、保健室に常備するようしております。公共施設への常備については、皆様から実情を伺いながら検討してまいります。 また、日赤病院の誘致については、直接ご挨拶に伺いましたし、関係する医師会、市町村等にも挨拶に伺っています。まずは理解していただくところから始めていかなければならないと思います。10年、15年という説明をしているのは、土地利用計画であったり、関連する道路の設計変更等、さまざま超えなければならない課題があり、そういった点も含めて出来上がるとすればそのくらい時間がかかるかもしれないという話です。現在市役所内でもプロジェクトチームの立ち上げ準備を行っており、今後も引き続き取り組んでまいります。（武田市長） 今の学校では、寄付いただいたものや学校で購入した生理用品を保健室に常備し、必要な子どもには無償で提供しており、返却の必要もないというように取組を変えております。（太田教育長）	企画政策課 学校教育指導課 地域づくり推進課	市回答のとおり	
2	総計 私は教員ですが、生理用品の話はすごく大事な話であると思います。保健室に常備している状況が望ましいかと思えます。また、いろいろな施設に設置してほしいという話もありますが、今社会の中で一番しななければならないことを検討しながら、だんだんに整っていけば良いのかと思えます。 やさしさについて、ゆとりが必要であると感じます。働く環境や子育ての環境、男性の育休取得の状況もそうですが、みんながゆとりを持てる環境を整えればやさしさに包まれた状態になるのではと感じます。	生理用品に関しては、衛生環境やさまざまな観点を踏まえて、公共施設への設置等について検討してまいりたいと思います。（武田市長）	企画政策課 学校教育指導課 地域づくり推進課	市回答のとおり	
3	総計 先日防災マップを見て、岩手山噴火時の避難所が滝沢南中学校ということで、思い付きで自転車で行ってみました。歩道を走ってみたのですが、結構段差がありました。私の家の前も南中生が通学していますが、段差のない道路になればやさしさにつながるのではと思います。	道路の状況については道路課につないで、歩道と道路の段差の在り方について詰めていきたいと思えます。（武田市長）	企画政策課 道路課	【企画政策課】 市回答のとおり 【道路課】 道路整備工事では、例として道路構造令により横断歩道に接続する場合、安全な通行を考慮して歩道と車道の段差2cmを標準として、施工しております。縁石による歩道と車道の分離は歩行者等の安全確保のため重要なものであると考えております。	
4	総計 昔はいろいろな行事で人とのつながりがありました。コロナ禍の影響で一段と希薄になってしまった印象があります。チャグチャグ馬コも復活しましたが、以前は前夜祭を行っていたかと思えます。大変賑わっていた印象があります。ビッググループで若干の催しは行っているようですが、いまいち盛り上がり欠ける印象です。菓子地区では山車を使ったお祭りを行っているという話も聞きました。ビッググループ近辺の開発が進めばどういった催しが開催できるのか楽しみにしているところです。	今年度のチャグチャグ馬コは全体で22万人以上の参加であり、ビッググループでは9千人を超える来場があったと聞いています。また、滞留時間が長かったようです。馬コの行進を見るだけでなく、出店等も楽しんでいただけたようです。私の見た印象では、ビッググループ前が一番賑わっていたかなと思います。（武田市長）	企画政策課 観光物産課	市回答のとおり	
5	総計 人に対してのやさしさと同じく、環境に対してのやさしさについても考えていきたいです。滝沢市はプラスチックや陶器の破片等も普通ゴミとして出せて楽だと思おう一方、ゴミの分別次第ではリサイクルにもつながるのではと考えています。	ゴミ処理については、これから広域ゴミ処理に移行していき、分別方法も変わってくるかと思えます。重要なはいかにゴミの量を減らすか、そしてリサイクルに取り組んでいくかということだと思っており、この点に向けての取組みはこれからもっと必要になってくると思えます。（武田市長）	企画政策課 環境課	市回答のとおり	
6	総計 私は障がい者ですが、最近社会福祉協議会や市の対応がやさしさに包まれたというのにびっくりだと感じます。これまでは盛岡市の取組に比べてどうかと思うこともありましたが、最近は一生涯懸命考えてくれるようになったと感じています。 もう一つ、今老人クラブでポッチャに取組んでいます。障がい者や老人だけでなく、健常者や若い人も楽しめるスポーツであると思えますので、ぜひ推し進めてほしいと思えます。	社会福祉協議会の対応についてお褒めの言葉をいただきありがとうございます。さまざまな状況に対応できるように、市健康福祉部も一緒になって行動していきたいと思えます。（武田市長）	地域福祉課 生涯学習スポーツ課	【地域福祉課】 市回答のとおり 【生涯学習スポーツ課】 地域スポーツの推進に取り組んでいる市スポーツ推進委員の皆さんと連携・協働しながらポッチャの普及・啓発に努めて参ります。	

7	総計	私はみなさんの笑顔を見るのが好きなので、今度の夏祭りも多くの方の笑顔が見られたらいいなと思っていますし、人の集える場所にみんなが集えて、やさしさに包まればいいなと思います。	この公民館をつくったとき、みなさんの笑顔が私も嬉しかったです。室小路の地域はさまざまな世代の方がいらっしゃいますので、いろんな世代の方々が集まれる環境を作っていきたいと思っています。(武田市長)	企画政策課 地域づくり推進課	市回答のとおり	
8	総計	孫が5人いますが、育てていくには若い夫婦だけではとても大変だと思います。男性の育休とか取りやすくなれば、余裕ができていいのかなと思ひながら私も手伝っているのですが、これからの未来のある子どもたちが伸び伸びと生きていけるような環境になればいいなと思います。	市として、率先して男性職員の育休取得に取り組んでおり、取得する職員も随分増えてきております。夫婦一緒にゆとりのある子育てに取り組めるようこれからも考えてまいりたいと思います。(武田市長) 男性職員の育児休業取得は3カ月から2年程度の範囲ではありますが、若い男性職員はほぼ取得している状況です。民間の企業だと男性の育児休業取得が進んでいないという状況もあるようですが、市としては子育て環境をやさしくするため、さまざまな子育て政策、環境づくり取り組んでまいりたいと思います。(佐藤企画総務部長)	企画政策課 総務課	市回答のとおり	
9	総計	ビッグループの産直が音楽だけで、いらっしやいませとかの声が全然聞こえない。西根や磐石の産直ではもっと声が聞こえてくる。ビッグループは葬式会場みたいだという話も聞きます。滝沢市の場合は1億円払って外部の業者に丸投げしているから、売り子の人たちから別に売り上げがなくてもいいというような感じを受けます。普通の産直ではもっと売り子の人たちが必死にやっているとします。今後もビッグループの運用はこのままで良いのかなと疑問に思っています。	コロナ禍で大きな声を出すことを控えていた状況が考えられます。多くの方に利用いただいているのは事実ですので、その部分を伸ばしていけるよう取組み、活気ある場所となるよう市民のみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。(武田市長)	地域づくり推進課	市回答のとおり	
10	総計	毎朝登校している小学生におはようと声をかけると、おはようと返してくれることがすごく嬉しく感じています。今孫が南中学校に通っていますが、通学路が暗いです。篠木方面は昨年ライトがついたようですが、こちら側はまだのようですので、なるべく早くついてほしいなと思います。	通学路整備については、御指導をいただきながら一緒になって考えてまいりたいと思います。(武田市長)	企画政策課 防災防犯課	市回答のとおり	
11	総計	滝沢に来て20年ちよつとになりますが、来た時は滝沢のことを何も知らず、近所の方や班長さんにいろいろと教えてもらったことにやさしさを感じました。私も同じようになればいいなと思います。孫の世代まで住んで行ければいいなと思います。通学路の歩道が狭かったり、車が結構スピードを出して走っているのが危ないと感じるので、皆さんにやさしい気持ちで運転してもらえたらと思います。	歩道の拡幅、交通ルールの徹底といった部分もしっかりと取り組んでまいりたいと考えていますので、ご指導よろしくお願ひします。(武田市長)	企画政策課 道路課 防災防犯課	市回答のとおり	

12	総計	いきいきサロンの担当をしていますが、地域包括支援センターの保健師さんに教わっているシニア体操がすごく良いなと思いますので、もっと進めてもらいたいです。また、紫波町のオガールを研修で視察してきましたが、町の中心に警察から役所から関連施設を全て集めて、先見の明がある建物だと感じました。今度市役所前を開発するようですが、市民からの声を集めて、10年20年先を見据えたものを作ってほしいと思います。	これまでもさまざまな体操がありました。一番は参加しやすい、継続しやすい体操に取り組むことだと思っています。何かを用意するものではなく、皆さんが参加しやすい体操が良いということ福祉分野に伝えて取り組んでまいりたいと思います。(武田市長)	企画政策課 地域包括支援センター 都市政策課	【企画政策課】 市回答のとおり 【地域包括支援センター】 市回答のとおり 【都市政策課】 市役所前の中心拠点商業地区については、住民アンケートなどにより、「食べる」「買う」「医療・健康増進」「子育て」の4つの機能を有するコンセプトを市が定め、現在、このコンセプトに沿った商業施設等の整備を民間開発者により進めております。
13	総計	ゆとりがあるとやさしさにつながると思います。子育てしている自分にとっては、日々の子育てと生活とで精一杯の状況ですが、近所の人が草取りをしてくれたり、木が絡まっているのを直してくれたり、嫌がる人もいるでしょうが、私はすごく助かっていてありがたいと感じています。人とのコミュニケーションはすごく大事ななと感じています。	周りの方が助けてくれる、地域の中でお互い様当たり前になっている状態が本当に良いものだと思います。おせっかいと取る人もいるかもしれませんが、コミュニケーションとして捉えられるように取り組んでまいりたいと思います。(武田市長)	企画政策課 地域づくり推進課	市回答のとおり
14	総計	物価高騰で余裕がなくなっている状況で、これがいつまで続くのかという点で将来が不安です。やさしさに包まれた滝沢を考えると、年を取ってから歩いて通える病院があったりとか、衣食住に困らないように生活圏にいろいろあれば嬉しいと思います。	徒歩圏内で用事が済むようにとのことで、まずは住民票等の交付がコンビニでもできるようにとか、少しでも利便性が向上するようさまざまな活用していきたいと思っています。また、物価高騰対策については、現状を踏まえて国に要望しながら、皆さんが安心できるような環境を整えてまいりたいと思っています。(武田市長)	企画政策課	市回答のとおり
15	総計	市長がおっしゃっていたさまざまな世代の方がいきいきと過ごせる地域になれば、やさしさに包まれた状態になるかなと思います。		企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。
16	総計	ビッグループに新たに設置された滑り台に描かれた馬の目がとてもやさしい目をしていて、私の中で今一番やさしさのシンボルになっています。	市役所でも子どもの声が多く聞こえます。昨今、公園で大きな声が聞こえてうるさいというような声もあつたりしますが、滝沢市で集う方々がやさしさをもって見守っていただけている状況に嬉しくなります。何より子どもが元気に遊ぶ姿はこちらも嬉しくなりますので、そういった環境を作ってまいりたいと思っています。(武田市長)	企画政策課 地域づくり推進課	市回答のとおり
17	地域懇談	やさしいまちということで、競争にこだわらない市になってほしいと思います。わかりやすい例で言うと、マイナンバーカード取得率が全国で1位とか、そういったことに囚われない市になってほしいと思います。それがやさしさじゃないかなと思います。	おっしゃる意見はよくわかります。まずは市民のみなさんが安心して取得できる環境を作っていくことを最優先に考えていきたいと思っています。(武田市長)	企画政策課	市回答のとおり
18	地域懇談	ここに来る途中で、自転車に乗った小学生が転んでしまって、カゴに入っていたボールが転がって行ってしまったのを見ました。子どもは自分も痛いだろうに急いでボールを追いかけて行って、車もちゃんと止まってくれていました。私は自転車を起こしてあげて、「大丈夫？」と声をかけたのですが、自分がやさしくできると、いつか帰ってくるかななんて思ったりしました。	盛岡大学の学生から、やさしさって一方的な面もあるけれど、誰かにやさしくすると、やさしくされた人はまた次の人にやさしくできる、やさしさの循環が生まれるまちであればという意見をいただいています。また、経済的な面で恵まれていない人には優しくできないという意見もいただいております。子どもたちがやさしさという言葉から考えてくれたさまざまなことを第2次滝沢市総合計画にしっかり織り込んでいきたいと思っています。(武田市長)	企画政策課	市回答のとおり

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	<p>私が優しさを感じるのですが、地域の中での活動の際に快く引き受け、お手伝いをしてくれるというのが優しいと思います。700世帯ぐらいある小岩井地域の中で、1人または2人ですが手伝うという電話をくれる方がいます。小さいことですが私はすごく優しいなと思います。</p> <p>優しさに包まれた街とはどんな街かについては、地域の中でみんなが協力し合って、いろいろな行事を行っていくことが優しさに包まれていると感じます。</p> <p>一つ一つの行事を私1人だけでやることは無く、体育部や文化部などいろいろな人と協働して一緒に行事を行っています。小さな単位で言えば、自治会活動でも優しさに包まれてるということを感じます。滝沢市全体でもいろいろな地域が同じように活動し、みんなが支え合い繋がってやっていくことが、優しさに包まれた街ではないかと思っています。</p> <p>そのために私ができることとしては、今まで通りみんなにお願いして一緒に手伝ってもらうなど、一緒に活動していくことと思います。</p> <p>市ができることは、みんなが活動しやすい場の提供であったり、各地域で集まったときに多少の支援などが必要になると思います。全国的には子ども食堂などが行われていますが、子どもだけではなく、地域全体でいろいろな人が集まって食べられる食堂ということを考える際には、調理場の整備や手伝いなど、地域で足りないところを、市の方も一緒になってやってもらえるかと進められるのではないかと考えています。</p>	<p>地域のために活動するとき、一緒にやってくれる人がいる、そして声をかけたら私も手伝うなどの声が上がるとことは、お互いがお互いを本当に信用できる地域なんだと思います。お互いに支え合いあいながら、引き続きやっていただければいいなと思っています。</p> <p>子ども食堂だけでなく、地域の方々が一緒になって食事をする、そういった環境をこれからも作りたいというお話もいただきました。まずはどういったことができるか、我々も持ち帰って考えさせていただきます。この食堂が手狭であることは伺っておりましたので、その部分も今後どういった改修方法があるのか、そして地域の皆さんが使いやすい環境をどのように考えるかなど取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>(武田市長)</p>	<p>地域づくり推進課 企画政策課</p>	<p>市回答のとおり</p>	
2	<p>小岩井地区では、日中の時間帯に高齢者が1人であることがある。風林ボランティアにより見守り活動等がなされているが不安なこともあるので、市には目を向けてもらいたいです。また、この小岩井地区の公共交通機関について、タクシーやバスの利用を計画したこともありますが、実現に至っていません。今後の総合計画において、現実にやれるかどうかなども考えていただきたいです。</p>	<p>ボランティアの方が、地域の足にもなるという活動は伺っておりました。まずは、それぞれの地域の中でどういった形態が活動しやすいのかなど、その部分も一緒になって考えながらやっていければと思います。</p> <p>細かく活動していただいていることに関しまして、我々も敬意を表して見ておりますし、これから次の形、あるいはしっかりと永続的にやっていける形というのを、我々も一緒になって考えてまいります。(武田市長)</p>	<p>地域包括支援センター 都市政策課</p>	<p>【地域包括支援センター】 市では高齢者の方のご様子を伺うため、実態把握訪問を行っております。また、地域の民生児童委員の方等とも連携し、見守り体制を整えているところで、今後も地域の皆様のご協力をいただきながら、活動してまいります。</p> <p>【都市政策課】 市回答のとおり</p>	
3	<p>思いやりを持って接してもらったときにやさしさを感じます。困っているときですとか、気づいて声をかけてもらったりすると優しいなと感じます。それがまち全体に広がり、できる方が協力して、できない人たちを助けることができると、感謝の気持ちを持って全員が過ごせると感じますし、やさしさに包まれたまちなのだと思います。</p> <p>また、市民の私達ができることとしては、困っていることなどを市に伝える、声を上げることがあるかと思っています。</p> <p>市ができることとしては、声を上げやすい環境を作ってもらいたいと思います。困ったことがあった際に、声を上げられる、どうせ言っても駄目だと言われると思われないう、声を上げることへのハードルを少しでも下げただけならと思います。</p>	<p>盛岡大学の学生とやさしさについて話をした際、やさしさをお返りする、また感謝の気持ちを持ちいろいろな人に接することでやさしさが循環する、そういった環境が本市の中に生まれればよい、とのお話もいただきました。そういった関係性がしっかりと生まれるように、我々も考えていきたいと思っています。</p> <p>困っていることについて、市に対しては言いづらいことと思います。ですので、地域の困りごとが見える環境をどう作るか考えていきたいです。声を上げやすい、相談しやすい体制づくりを行い、不安に寄り添うことが市の役目であると思います。その声を地域の中から丁寧に見つけ拾う部分を、今回の総計の中で考えていきたいと思っています。(武田市長)</p>	<p>企画政策課</p>	<p>市回答のとおり</p>	

4	地域懇談	<p>コロナ禍もあってか、子どもたちが遊ぶ場所が少ないのかなと思います。公園などもコロナ過以前はありましたが、今の子どもたちは家以外にどこに集まろうかとなっています。安全の確保などの面もあることと思いますが、子どもたちが何か自分たちで遊べるような空間作りがあると良いと思います。</p> <p>また、老人に関しても元気な方々が集まれる空間もあつたら良いのではないかと思います。元気な方同士のコミュニティがあることで、お互い体調を崩したら確認がし合えるとも思います。</p>	<p>滝沢市役所前のビッググループの広場へ、管理者の方が遊具を設置してくれました。市役所にいますと毎日子どもたちのいろんな声が聞こえ、すごくありがたいなと思います。一つの遊具を作ることによって、あるいはそういった環境があることで変わってくることもありますので、この点を考えていきたいと思っています。</p> <p>また、元気な老人の方々も集える場所については、コミュニティセンターの部分あるいは小岩井駅の改修など踏まえて、この地域の方々が集まりやすい環境というのは何かを一緒に考えていきたいと思っています。(武田市長)</p> <p>学校現場でのコロナ禍の3年間は、子どもたちを遠ざける活動ばかりが多いものでした。子どもたちにとって本当に当たり前の日常が失われたことをこれからどうやって取り戻すかが大事だと思います。たくさんさんの体験、人との触れ合いが大事だと校長会等を通じて話しているところであります。子どもにとって人との関わりの温かさ、優しさを感じみんなに愛されていることが、かけがえのない成長につながると思います。(太田教育長)</p>	<p>児童福祉課 高齢者支援課</p>	市回答のとおり	
5	地域懇談	<p>優しさを感じることにあまり意識したことはありませんが、日頃からこの地域は優しい地域だと思っています。散歩をしていると、行きかう人たちと比較的挨拶も気楽に気安く行っていたり、難しさを感じないです。何かわくわくしたような気持ちがあります。</p> <p>朝のスクールガードをやっていますが、子どもたちと出会う挨拶をするなど、子どもたちのそういう姿を見ているだけでほっとします。そういう地域の特性というものがあるのかなと思いますし、これを大事にしていきたいと思っています。</p> <p>地域の特性と言われると確たることは言えませんが、この地域の歴史を先人の方々たちが築いてこられて、そしてそれを受け継いでいる住民たちがこれを体現しているのではないかと思います。</p>	<p>スクールガードで子どもたちに声を掛けることは、本当に素晴らしい環境だと思います。盛岡大学の学生さんが、母校での教育実習の際にスクールガードの方から声をかけてもらったことについて、卒業して何十年経っても自分の姿を見てそして名前でも呼んでもらえて、感動したと話してくれました。このことから、滝沢で教員になりたいと、地元でしっかりと働きたいと感じたそうです。この話を聞いたときに、スクールガードであつたり地域の中で様々な支え合いをしてきたことは、やはり今後も続けていくものであると思いました。</p> <p>まずは優しさに関して、小中高の学校でも人間関係を作っていくため、基本的な挨拶をできる環境を作っていくことが第一ではないかと言われていまして、挨拶がしっかりとできる環境というのを意識して、総合計画に盛り込んでいきたいなと思います。(武田市長)</p>	<p>学校教育指導課</p>	市回答のとおり	
6	地域懇談	<p>小岩井公民館の建設についてですが、先ほどのお話の中で市長から調理場の件について触れていただきました。まさしく、自治会等で目指しているところでもあります。以前に話が出ていますが、小岩井地区に第2公民館があります。そこはある業者から無償で譲り受けていますが、使っていない状況です。そこを活用する意見もありましたが、住民からは不便だという意見もあり問題です。調理場の件は、早急にお願したいということでの要望ですがいかがでしょうか。</p>	<p>調理場が手狭であることは課題だと伺っていました。解決の手法は、我々も今一生懸命考えているところです。公民館やコミュニティセンターの件は、各自治体から様々な声が上がってます。室小路でも新しく建てましたが、地域の皆さんで積み立てなどの準備するなど対応しました。</p> <p>建設や改修等については、どの地域も同じようにやっていかなければ不満の原因になりますので、その部分も一緒に相談しながら進めたいと思います。(武田市長)</p> <p>歴代の役員の方々と話し合いをしながら、またこちらの文化祭にお邪魔した際にも手狭であることは伺っており、十分課題であるということは捉えております。</p> <p>先日も会長と副会長を交えて、地域づくり推進課と話をされたら報告がありました。今後も話し合いをしながら、それぞれ自治総合センターの予算を使うことなのか、地域と市で折半ですか、それぞれ負担割合を決めながら作るかなど検討していることもありますので、担当の方とも話をしながら進めるように取り組んでいければと思います。(岡田副市長)</p>	<p>地域づくり推進課</p>	<p>小岩井地域においては、小岩井駅舎のリニューアルもあり、今後さまざまな変化があると察するところです。</p> <p>地域の意向を共有させていただきながら、将来においても活動しやすい環境づくりに向けてどうあるべきか、地域の皆さんとの話し合いを継続してまいります。</p>	

7	地域懇談	<p>公民館の方は借りている土地で、所有者との契約の話は皆さんもご存知だと思います。地域の皆さんにも何度も話をしているところです。土地の返却をまず進めることで役員会やら理事会やらで話合っています。公民館の取壊し費用は自治会で負担するものと考えていますので、そちらをまず進めながら新しい公民館ができるかをこれから考えていきます。壊すとなると、まず公民館が無くなり、今私達が使っているコミュニティセンターのみで活動していくこととなり、フル稼働する状態になると思っています。</p> <p>現在、いきいきサロンの中で高齢者の皆さんに月1回お食事提供しています。40人程のお弁当という形で今公民館の調理室で作って運ぶ作業をしていますが、容器代もかかっているところです。すぐに公民館を作ることは無理とわかっていますが、相談を進めながら早めに考えてもらえればと思います。</p> <p>もし調理場が広がると、文化祭の食堂も広くできるかと思ったり、子ども食堂ならぬ地域食堂のように発展させていくためにも必要と思っています。また、この地域には食の匠のような存在の方が多いです。冬には大福作りなどのほか、餅つき大会もやっています。このようにみんなで調理するということも踏まえて、調理スペースを考えてほしいというのが今の現状です。</p>	<p>地域の皆さんが元気に活動している、あるいは様々なイベントをすることは、子どもたちはよく見えています。やさしさを話していく中では、地域の祭りに自分たちも参加し、将来にもこのお祭りを残していくこともあるといった話もありました。やはり地域の皆さんと触れ合うことに本当に喜びと安心感を子どもは感じているんだと理解しました。地域で行われるイベント、そしてお祭りを将来的にも残していく、そういったためにもやはりこの食堂の手狭さは課題だと私も思っています。</p> <p>まずは、地域の皆さんの活動しやすい、人が集まる環境を作るかについては我々も一緒になって考えてまいりたいと思います。(武田市長)</p>	地域づくり推進課	<p>小岩井地域においては、小岩井駅舎のリニューアルもあり、今後さまざまな変化があると察するところです。</p> <p>地域の意向を共有させていただきながら、将来においても活動しやすい環境づくりに向けてどうあるべきか、地域の皆さんとの話し合いを継続してまいります。</p>	
8	地域懇談	<p>お祭りの件ですが、子どもたちがそのように言ってくれるのはすごく嬉しいと思いました。今年もコミュニティセンターの狭い駐車場で400人ぐらい集まり夏祭りをするのですが、過去に中学生を巻き込んだお店をやり始め、その当時の中学生がもう大人になり、手伝いをしているような流れができてきています。</p> <p>調理室も手狭ですが、駐車場もすごく狭い状況です。調理室と併せて、駐車場も今後考えていただければと思います。</p>	<p>地域の皆さんが楽しくそして集えるかも大事ですが、もしものときのことでも考えなければなりません。新しくできる小岩井駅舎の活用も含めて、皆さんが活動しやすい環境をこれから整えていけたらいいなと思ってます。</p> <p>まずは、小岩井駅が作ってきた歴史も一緒に後世に残していくか、小岩井農場さんにも地域作りに参加してもらえようと考えていきたいと思っています。(武田市長)</p>	地域づくり推進課	<p>小岩井地域においては、小岩井駅舎のリニューアルもあり、今後さまざまな変化があると察するところです。</p> <p>地域の意向を共有させていただきながら、将来においても活動しやすい環境づくりに向けてどうあるべきか、地域の皆さんとの話し合いを継続してまいります。</p>	
9	地域懇談	<p>小岩井駅の無人化について困っており、声を挙げさせていただきます。</p> <p>以前は職員がいたこともあり、大人の存在で管理してくださっていました。無人化になったことで大変危険だということで、安全や緊急時の対策のためにも育成会から見守りをしているところです。子どもたちの危険行為は実際にあることですので、この問題について考えていただければと思います。</p>	<p>以前からJRにお伝えしたいと思っていることは、電車が停車してから子どもたちがホームに入ることを、通常ルール化することです。そしてその決まりごとをしっかりと子どもたちが守ることが大事だと思います。</p> <p>電車での通学は、社会と触れ合う一つのきっかけになると思っています。利用ルールを守り乗車することで、自分たちが社会の中の一人である経験となると考えています。</p> <p>つきましては、しっかりとルールを決め、どうやって安全に乗降できる環境を考えて作っていただけたらと思います。(武田市長)</p> <p>子どもたちの登下校の安全っていうのは、何にもまして優先されなければならないですし、子どもの命を守ることが一番大事と私達も捉えております。小岩井駅で安全が保たれているというのは、地域の誇れる財産であり、保護者の方々、学校、地域の協力がで守られているところがあります。</p> <p>小学校の2年生の生活科の学習では乗り物学習があります。電車やバスの乗り方の実地学習を何時間もとっています。それは、社会の仕組みを学ぶことであり、日常の中でやってきていることです。</p> <p>問題については、一緒に相談と工夫をしながら進めていきたいと思っています。(太田教育長)</p>	<p>都市政策課 学校教育指導課</p>	市回答のとおり	
10	地域懇談	<p>選挙公約の盛岡赤十字病院の滝沢市への誘致についてです。高齢者や子どもにとってもありがたいため、ぜひ実現してほしいと思います。一方で、経過を見ているとトーンダウンしてきたように受け止めております。今の状況について、お話しいただければと思います。</p>	<p>東日本大震災の際には、自衛隊やDMATの活動があり沢山の命が助かったものと思っていますが、沿岸部での病院移転もその要因であると思っています。安全な場所への搬送、医療活動は大事だと思います。水害によって様々な事案が起こることをわかっておきながら、盛岡赤十字病院もかなりの深さになるかもしれないということで騒がれています。そういった情報を私も見ており、誰かが声を上げて訴えることがなければ、重い腰を上げないと思っています。</p> <p>今後、盛岡赤十字病院は建て替えの時期が回ってまいります。その時期に早く候補地として名乗りを上げることが一番大事と思っています。まずは日赤をはじめ、各医療機関や医師会のほか、他自治体の首長に理解していただくことが必要だと思います。そして移転の候補地として本市に来ていただけるような環境を作っていきたいと思っています。まずはそういった形で御挨拶しながら進めていきたいと思っています。(武田市長)</p>	企画政策課	市回答のとおり	

⑪ 元村地域自治会連絡協議会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計 元村南の自治会長であったとき、足りないのはやさしさだと思っていました。第二次総合計画の市長の主旨に賛成です。地域はつながりが薄くなったと思う。何か足りない、人を愛うとこが文字通り根っこにあつてのやさしさだと思います。やさしさと言えば、市役所の職員は話を聞いてくれます。よく聞いてくれるが「いつまでにやります」という返事がないと思われまます。そういうことも要望しながら、地域としてつながりを作るための事業を具体的に考えていくことが課題と思います。	人と人とうどう支えあうのか、地域のつながりを再構築したいと思っています。どういった人間関係を作っていくか仕組みを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。（武田市長）	地域づくり推進課 総務課	【地域づくり推進課】 市回答のとおり 【総務課】 市民に寄り添い対話をし、丁寧な対応を心掛けるよう職員の育成に努めてまいります。	
2	総計 滝沢市に住んでいると盛岡市主催の行事等に参加できません。市長同士で話していただけないでしょうか。盛岡市西部公民館やマリオスでの盛岡市の催しものに滝沢市民の私も参加したいと思っています。私は、以前、盛岡市との合併を望んでおり、残念でした。	参加できるできないの詳細をわかっておりませんので、確認してみたいと思います。（武田市長）	企画政策課	現状参加できない講座があることは事実のようです。今後広域連携の協議の中で、実施の可否も含めて検討の対象としたいと考えます。	
3	総計 男性用トイレにサンタリーボックスの設置について、話題になっていますが、私は病気により、パットが欠かせない者です。どうしても間に合わない時もあり、トイレで交換するのですが、市役所の男性トイレにサンタリーボックスは設置されていますか？	市役所庁舎は、今年の6月に男性トイレにも設置しました。順次公共施設でも設置するように指定管理者等をお願いをしているところです。（佐藤企画総務部長）	財務課	市回答のとおり	
4	総計 在宅で認知症の妻を介護しています。4つの視点に「高齢者」の視点がなかったのが残念です。高齢者の位置づけはどうなっていますか？認知症基本法が制定され、2025年には700万人、5人に1人は発症すると言われているものです。高齢者に対する啓発や予防が大事だと思います。高齢者の視点を入れてほしいです。	基本構想には説明した4つの視点を書きました。今後、具体的に色々な施策や事業計画を立てていきます。その中で具体的なことを考えていきたいと思っています。（佐藤企画総務部長）	企画政策課	市回答のとおり	
5	総計 私は京都の出身です。昭和38年に名神高速道路が開通してから田舎だったその土地が活性化し京都にお金が落ちました。如何にして都市計画していくかであると思います。滝沢にはスマートインターチェンジができました。これから創造でき、先進的になることができます。せっかく土地があるのに、大胆な創意工夫の都市計画を練って欲しいと思います。創意工夫により日本一になるための方策はいくらでもあります。娯楽施設、休憩できる場所、遊び場、観光等大いにやってもらい、同じくお金を投入するなら日本一になる要素のあるものを期待します。	スマートインターチェンジの開発はやりたいと思っています。しかし、その前に工業団地を作るにしても宅地開発するにしても、混雑を解決しなければ次に進めません。環状線の混雑、この会場のふるさと交流館周辺が最も渋滞となっていること、市、県、国土交通省が認識しており、解決のため協議しています。渋滞であると誰も来てくれません。住んでくれません。協議会を立ち上げて、どのように道路改良すればいいか協議を始めています。まずは、道路の混雑を解消して、何を作っていくべきかを考えていこうと思います。お住いの皆さんが安心する地域づくりがしたいです。開発後に納得感が無いものにならないように考えていきたいと思っています。（武田市長）	都市政策課 道路課	市回答のとおり	
6	総計 長野県が30年間日本一を続けている長寿について、私は興味があり、訪問しました。80歳、90歳になっても元気に働いており、何より「食への関心」が素晴らしいものでした。市も日本一になれるものと考えて欲しいものです。		企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。	

7	総計	令和5年度の市長方針のなかで公約の実現を見据えた事業の取組や現場に積極的に入ることに取り組んでおられるということで、市長と話そうなどを精力的にやっているものと思っています。市長が積極的に市民の中に入って行く中でどのような意見を出されたのか、若い人たちは地域づくりについてどう考えているのか聞きたいです。特に、大学生、高校生がどのような話をしたのか聞きたいです。	まずは、ごみの無いまち、地域のお祭りに出かけたい、ユニバーサルデザインが将来につながるだろうといった話がありました。高齢者が安心して暮らせる地域にしたい、障がいがある人もない人も笑顔で暮らせるようにとの話です。また中学生から出たものですが、経済的に恵まれていないとやさしくなれない、だから子ども育てやすいまちにしてほしいとの意見もありました。若い人はコロナ禍で控えていたことを再構築してしっかりと8年間で何をしてほしいか考えてきています。盛岡大学の学生はやさしさを受けた人がやさしくなれる。やさしさの循環が生まれるようにしてほしいと言っていました。しっかりとお返ししたいし、困っていることがあれば、困っているんだと言える環境を作ってほしいということも言ってもらっています。東小の出身の盛大の学生が教育実習に来たら、スクールガードさんが自分のことを覚えており、名前を声をかけてくれたのがとてもうれしく、ぜひこの滝沢で教職につきたいと思ったと、仕事で恩返しに指定と思ったと言ってくれたこともありました。(武田市長)	企画政策課	市回答のとおり	
8	地域懇談	元村は新興住宅地で、小中学生が多い地域です。中央小学校ができる前は、滝沢小は一番のマンモス校でした。その通学路である盛岡環状線について、滝沢ふるさと交流館の交差点は、厨川方面から北に向かう方向の信号に右折矢印信号が無く、朝夕混雑が激しく全く車が進まないこともあります。これに関して、警察にも伝え、市と盛岡広域振興局には要望を出しました。振興局からははっきりとした回答を得られておりませんが、市は地元の人たちが便利になるように調整いただきたいと思います。信号は、子どもたちの通学路です、渡るのが大変です。	昨年11月に要望書の提出をお受けしております。環状線は岩手県の直轄で振興局が管理しています。また信号は警察の範疇となり、これに関して県は、警察に意見をお伝えしますという回答であったと伺っています。盛岡西警察署は、混雑を把握しているものの、様々なところから信号の要望があり、優先順位をつけながら整備しており、状況を確認しながら今年度検討し、早ければ来年度設置の可能性を考えているようです。ただし、まだその判断が出てないというところをお伺いしております。(長内都市整備部長)	道路課 防災防犯課 企画政策課	市回答のとおり	
9	地域懇談	諸葛川と木賊川の草刈りについて、県から市さらに市から自治会へ委託され、1平方メートル当たりいくらかといったような単価で年二回実施しています。元村東自治会は、年三回実施しています。これについて、世代交代が進まず、草刈りを実施するみんなが年を取ってきています。これをなんとかしてもらいたいと思います。	自治会の皆さまに業務委託するに当たり、意向のアンケートをしている。川に関する愛好会の皆さまは可能な回答をもらっていますが、それ以外の自治会の皆さまは大変であると同様です。市はシルバー人材センターにも委託について確認しましたが、難しい旨の回答を頂いているところ。自治会の皆さままで出来なくなると県に返すこととなりますが、そうすると予算がありますので、年一回といった管理になるのではないかと予想されます。(長内都市整備部長)	河川課	市回答のとおり	
10	地域懇談	また、数年前に川の一部を浚渫してもらいました。けれど、年数も経ち、それ以外の部分は浚渫されておらず、雨が降ると死活問題と思います。あふれるようなことがあって、人の命がなくなってしまうのは大変です。	浚渫については、県に要望していきたいと思っています。(長内都市整備部長)	河川課	市回答のとおり	
11	地域懇談	3月に要望をして、元村南の防犯部長が説明に行った件二つです。一つは、盛岡みたち支援学校から月が丘に向かって進み、工場があった所に作られた団地があります。それに伴い、交通量が多くなり、そして、カーブミラーが移設されたのですが、今立っているものは細く、一方は死角になります。その改善要望です。もう一つは、その団地沿いに「グリーンベルト」をもう少し延ばしてほしいというものです。住宅で来た時に、支援学校のバスが通ると一台ぎりの道路幅で、中央小とも話、左側通行しています。それをもう少し延ばしてほしいものです。この二件について、中身の進捗もそうですが、いづろ見通しがつくのか知りたいです。職員は話をよく聞いてくれます。それはありがたいが、でも「いつ頃なのか」ということを言ってくれません。こちらは、いづろかという見通しが欲しいのです。申し訳ないけれど、来年なのか、冬前なのかと言った、地域に対して見通しを伝えるのが遅いです。	具体的な場所や手持ちの情報がなく申し訳なく、後ほど、回答しますが、毎年各自治会の皆さまに、子ども達の交通のためなど要望をお伺いして、安全推進会議という防災防犯課、道路課、教育委員会そして警察が会してどこを優先して対応するべきかという会議をしています。予算の範囲内で、どのように対応させていただくか検討しているところです。(長内都市整備部長)	防災防犯課 総務課	【防災防犯課】 市回答のとおり 【総務課】 市民に寄り添い対話をし、丁寧な対応を心掛けるよう職員の育成に努めてまいりたいと思います。	

12	地域懇談	選挙の話です。立候補者は、投票率が高い選挙で当選されたいと思います。投票率を上げるために年齢別の投票率きちんと分析しているのかどうかということと、投票率をどう上げようとしているのかということを知りたいです。私見としては、投票所をもっと増やせばいいでしょうか、あるいは投票所移動するようになればいいでしょうか、行きたいけど行けない人たちのためになど、年代別投票率など実態を捉えて、どう活かしていくのが将来の課題かなと思っています。	若い世代にいかん選挙の大切さを伝えるかということに関し、中高校生、大学の方にも選挙の制度についての普及啓発を図っております。大学に期日前投票所の設置を行う選挙もありました。ご指摘の年齢別の投票率の分析もしてるところです。全国的に投票率が低下しているという実態と、滝沢は国政ほど高く、市議選や市長選といった身近な選挙の投票率が低いといった傾向があります。ただし、傾向がそうであるということではなく、投票率の向上に向けて考えたいと思います。八幡平市は、投票所の見直しに伴い、物理的に移動投票所を作ったりといったこともあるようです。これは投票率の向上には至ってないといった状況を聞きます。期日前投票所を増やせばいいかといった検討もしています。いずれにしても、より投票しやすい環境を作ることが大事だと思いますので、検討し、実行できるよう進んでいきたいと思っています。また、選挙管理委員会も皆さまとお話させていただき、考えていると思います。さまざま、共有を図るような形で進んでいきたいと思っています。(岡田副市長)	選挙管理委員会事務局	市回答のとおり	
13	地域懇談	私も関連して投票率について話します。市は県内他市町村に比べても投票率が非常に低い状況にあるかと思っています。5月の自治会連合会総会後、北部中部南部三つのブロックに別れ、投票率向上のために意見交換を行いました。選挙管理委員会も立ちあいのものに色々なアイデアや施策が出ました。これから市議選、県知事選、県議会議員選挙がありますが、投票率向上に向け、市は何か施策や対策を講じているのか、どのように進めていくのか伺います。	投票率は課題です。関心の低さの表れであろうと思います。市長選では期日前投票が長蛇の列でした。コロナ禍で間隔をあけねばならなかった点は解決します。ビッググループ滝沢と葉の木沢山活動センターの二か所を期日前設置しますが、制限がなくなったことで投票率が上がると良いなど思っています。皆さまも様々な場所で投票に行く話をしていたら期待しています。(武田市長)	選挙管理委員会事務局	市回答のとおり	
14	地域懇談	選挙の話がありました。多分、私達の世代が行くことができていないのだと思います。期日前投票もありますが、仕事で行けなかったり、家に帰って子どもたちのご飯支度があるなど、行かなければと覚えているんですけど、結果、忘れます。当日になると何かと理由を付けて「いけない」と思います。なので、ここをどうクリアしていけばいいのかというのが課題なのかなと思います。40代30代の投票率が上がれば、ぐっと変わってくるのではないかと思います。	働く世代の皆さんが、投票に行かなくてはと焦るのではなく、子どもと一緒に行ってほしいです、選挙の一票の大切さをしっかりと教えていただく投票行動に移していくということが大事なかなと思います。夜8時まで期日前投票をやっています。今回はコロナ禍の制限はなくなりまですので、より早く土日でもという環境になるのではないかと期待しています。(武田市長)	選挙管理委員会事務局	市回答のとおり	
15	地域懇談	今は学校の連絡もメールで来る。みんなLINEで一斉に連絡していたりします。PTA会長などを通じてお願いしてやればもっと来ると思います。	保護者へ学校からの連絡手段としてメール配信に取り組んでおります。選挙については子どもたちを連れていくということが未来のために大切であり、学校からもお便りで選挙に子どもを連れていきたいと思いますということに取り組んでおります。(太田教育長)	選挙管理委員会事務局 学校教育指導課	市回答のとおり	
15.2	地域懇談	また、わかってらっしゃることはあると思いますが、子ども達は色々取り組んでいて、発表会など夜中まで練習頑張ったりしている。発表の機会が残念です。せっかくなので早急にPRをしながらやっていければと思います。	子どもたちが郷土芸能や教育活動に取り組んでいるのは本当にその通りでして、この数年間コロナ禍の中で発表の場というものが失われておりました。人数制限などもあり、市民の皆さまに広くご案内もできませんでしたが、子どもたちの活動の成果や文化的な活動をたくさん披露できる機会を今後も大事にしていきたいと思っています。今、目指しているのは、子どもたち一人一人がふるさとに愛着を持って、大切に思い、このふるさとで生きていくことに喜びを感じられるような教育をしようということです。地域の皆さまのお力を借りながら、昨年度から滝沢魅力学という学習に取り組んでいます。総合的な活動の時間と関連させながらスイカの栽培やリンゴの栽培、米作りなど、広く文化伝統芸術のみならず、滝沢の魅力あるものを子ども達に体験させて、育てていく取り組みです。どうぞ今後ともお力添えのほどよろしく願いいたします。(太田教育長)	学校教育指導課 たきざわ魅力発信推進室	市回答のとおり	
			先ほどSNSのお話がありました、また世代の話もいただきました。まさに30代40代50代以下の皆さんの投票率が低い実態があります。様々な要因はあると思われます。市は、ワクチン接種の関係でLINEのアカウントを持ち、市民の方に情報をお伝えしました。現在は、そのLINEで市の情報も出しています。例えば「今日テレビで流れます」とか「選挙期間です」といった情報も出ていきますので、共有していただき、SNSも活用していただきながら、やっていきたいと思っています。(岡田副市長)			

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時	
1	総計	前回の総合計画の振り返りワークショップに参加しましたが、その中で出た話に、ほどよい自然が残ってる便利と自然が残ってるこれ非常に滝沢の強みだよねっていう話があったと思うんですが、この4つの中に何とかそれも盛り込んでいただけないかなと思います。	企画政策課	いただいた意見は、「やさしさに包まれた滝沢」を目指す第2次滝沢市総合計画策定の参考とさせていただきます。		
2	総計	総合計画の中で、地域づくりということをお話されましたが、その前に滝沢市の将来に向けての経済的・精神的な豊かさは住民にとって必要だと思います。市長が当選されたとき、滝沢をつくると話していて、私は感銘を受けました。最近、たきざわ魅力発信推進室という部署ができて、広報担当が配属されたと聞きました。私はそこで魅力ある滝沢を作ったらどうなんだと思いました。イノベーションセンター、イノベーションパークで、IT産業の技術革新など研究されていると思いますが、あれは地場産業になるのか、滝沢の特色ある産業になるのでしょうか。また、産業振興の条例ができましたが、私は観光産業にもっと力を入れて、全国にチャグチャグ馬コをもっと発信したいです。	子どもたちは今ある豊かな自然を未来に残してもらいたい。それが将来へのやさしさや滝沢の特徴に繋がるかと話していました。しかし、今は鳥獣害被害などの課題があるので、まずは豊かな自然をしっかりと残していきたいと考えています。ある中学校ではホテルを地域に残していく活動を、小岩井地域ではカワシンジュガイをこれからも守っていく活動をしております。 そして、はたらく滝沢については経済的な部分を補完していきたいと考えています。現在基金に約20億円近く積み立てることができましたので、大きな災害などが発生したときには、しっかりと対応ができます。子育てについては、今まで医療費に所得制限があり、他の市町村に比べてかなり遅れた状態でしたが、まずは所得制限の撤廃ということで、来年4月からは所得制限を撤廃して子どもたちの医療費の補助をします。ただ、そこまで豊かなわけではありませんので、お金の状況を見ながら数字とは向き合って考えていきたいと思っています。また、滝沢市の特徴として大学が2つ、高校が2つあること、そしてさまざまな研究施設もあります。大学が2つあるというこの特徴は、他市にはありません。また、現在滝沢市も含めて岩手県で最も話題になっているのが、若者の地元定着です。県外に流出していく人が多く、企業でも従業員が集まらない状況です。市内にある盛岡大学では岩手県内に就職する人が75%いるそうですが、岩手県立大学は30%以下だそうです。地域には中小企業をはじめさまざまな企業があります。その企業と大学生を結ぶことが一番大事だと思います。その中で、特にもITの関係においてイノベーションパーク内でさまざまな実験施設などがあり、世界各地や国内からさまざまな方々が来て、研究施設として活用されようとしています。あわせて、滝沢市の弱点である盛岡環状線は大型車の混入率が高く、常に混雑しています。環状線付近に企業を呼び込みたくても混雑が悪化してしまい、滝沢市で暮らす皆さんに大きな負担をかけることになってしまいます。そこで、今年度から国土交通省と岩手県、滝沢市の3者で盛岡環状線の改善について協議を始めることができました。混雑が改善されることにより、新たな企業を招くこともできます。 観光に関しては、今年開催されたチャグチャグ馬コにおいて、過去最高である22万3000人の方が来られました。そして今年の特徴としては、ビッグルーフ滝沢にキッチンカーや催し物のおかげもあり、長い時間ビッグルーフ周辺に滞在していた方が多かったことです。これは、チャグチャグ馬コの新しい弾みになっていると思っています。あわせて、これから農家の皆さん、馬を育てる皆さんにも協力していただかないとこの文化は続けていくことができません。まずは馬コに出る馬と農家の皆さんをこれからも支えていきたいと思っています。(武田市長)	【企画政策課】市回答のとおり 【たきざわ魅力発信推進室】市回答のとおり 【企業振興課】市内には、盛岡大学、岩手県立大学の2大学が立地しており、岩手県立大学には、ICTを活用した問題解決能力を備えた人材育成を行う「ソフトウェア情報学部」が設置されています。このような本市の特徴を活かし、イノベーションセンター及びパークにおいては、市、岩手県立大学及び岩手県が連携し、研究開発支援、既存企業の抱える技術的課題の解決、新事業の創出などの促進を図っております。また、イノベーションセンターにおいては、大学と入居企業の人材交流や、セミナーなどを実施し、他分野との交流を図るほか、小中学生を対象としたプログラミング教室等、ICTを活用する体験の機会を創出し、人材育成に努めております。今後も、ICTを活用できる環境整備と機会提供を継続し、イノベーションセンター及びパークが、特色あるICT産業の拠点となるよう、関係機関と連携し取り組んでまいります。		
3	総計	信頼関係がないとやさしさに包まれる世界はできないと思います。信頼関係を構築するためには挨拶が大事だと思います。これからすぐにできて、お金も掛かからなので挨拶運動など実施してほしいです。	挨拶に関して、各世代の皆さんからお話をいただいています。滝沢第二中学校の生徒は、スクールガードや地域の皆さんから挨拶や声をかけてもらうことが一番優しさを感じると話していました。学校外でも率先して生徒から地域の皆さんに挨拶するというお話を聞きました。地域の助け合いの中で、お互い様の気持ちを持つことにより、挨拶から生まれる新しい会話があると思いますので、私たちもしっかりと取り組んでまいりたいと思っています。(武田市長)	企画政策課 学校教育指導課	市回答のとおり	

4	総計	市庁舎裏の上田邸が朽ちて崩壊しそうですが、総合計画に管理についての記載がありません。また、お山の湯も市民の憩いの場だったと思います。やさしさを求めるのであれば、現在使われてない施設などについても、総合計画の中に入れてほしいです。	現在、上田邸は屋根の部分などあまり良くない状態です。以前は建物内でお茶会や蕎麦打ちなどで利用する方もいらっしゃいましたが、今はあまり利用されていません。月に1回程度、建物内で火を焚いて茅の保に努めていますが、今後きちんと管理ができるように関係課と協議していきたいと思っています。 また、お山の湯は岩手山が噴火などした場合の一番危険なレッドゾーンに該当します。以前議会でもお話がありましたが、湯をくみ上げるポンプが高額で買い替えても数年でまた壊れてしまうなど、財政的にも厳しく閉鎖しました。現在は、市商工会青年部の皆さんが新しい情報発信あるいは魅力発信の場所にしたいと活動していただいています。市の若い人たちが今、さまざま活動していますので、見守っていききたいと考えています。（武田市長）	文化振興課 財務課	【文化振興課】 上田邸については、建物内の消毒及び害虫駆除等を目的に、年2回燻蒸及び清掃を業者に委託しております。また、職員が定期的に状態確認を行っています。 【財務課】 市回答のとおり	
5	地域懇談	ゴミ処理施設の広域化の話が進んでいますが、問題があると思いますので、再検討してほしいです。どのようなお考えか、聞かせてほしいです。	ゴミの広域化については、盛岡広域の関係市町村と協議を進めています。単独で再度市のゴミ処理場を作るのは難しく、広域化の中でゴミ処理場を作らない限り、国からの補助金は出ません。今後の広域化について、活用方法や焼却炉の形態、最終処分場について、現在各市町村と話し合っています。決定内容につきましては、広報などでお知らせしていきます。住民の皆さんと一緒に取り組みながら、今後のゴミ処理の在り方についても議論していきたいと思っています。（武田市長）	環境課	市回答のとおり	
6	地域懇談	消防団員の手当が個人に振り込まれ、非常に困りましたが、消防団には支給がなく、活動資金がありません。昨年度の市政懇談会でもお願いしましたが、進展はありますか。	他の分団からも同様のご意見をいただいております。今までは分団に振り込んで分団の運営費を賄っていただいていたのですが、今は個人に振り込む形態に変えました。現在具体的に進んでいる部分はありませんが、どのようなやり方がいいのか消防団の幹部の皆さんと継続して検討しているという状況です。進展がありましたら適宜お伝えしていきたいと思っています。（岡田副市長）	防災防犯課	市では、令和4年度から出動報酬を消防団員個人に支給しています。このことから、火災等の災害出動や各種訓練に必要な消防器具や装備品について、これまで以上に市として整備・購入していく必要があると考えています。今後も各分団にアンケート調査を行うなど、引き続き団員の皆様が安全に活動していただける体制づくりに努めて参りたいと思います。	
7	地域懇談	滝沢ニュータウン内の街路樹を切ってほしいです。車で十字路を通る際に枝や葉が邪魔になり、左右確認が難しいです。（自治会事務局より、既に対応済みとの補足説明あり）	危険箇所につきましては随時対応してまいりたいと思っております。3月に防災防犯課から地域からの要望を取りまとめ、危険箇所について教育委員会や防災防犯課、警察などと現場確認し、優先順位をつけて対応しております。子どもたちを守るという観点からも、対応してまいりたいと思います。（長内都市整備部長）	道路課	今年度、通行に支障となる街路樹の伐採及び剪定を実施しました。	6月
8	地域懇談	地域内の道路の状態が悪い。穴が開くたびにを補修していますが、ガスやパイプ交換の補修の跡などもあります。また、雨水の排水も悪いのでU字側溝に変えてほしいです。今後どのように対応していくか、お考えをお聞かせください。	市では道路の修繕計画を策定し、優先順位をつけて対応しております。安全安心を第一に、子どもたちを守るということを優先順位を高くして対応しております。道路につきましても随時悪い場所から対応しております。ご意見承りましたので、道路課と確認し意見があったところを踏まえながら、修繕計画に盛り込んでまいりたいと思います。（長内都市整備部長） さまざまな地域の方から、道路の修繕あるいは雨水の排水について要望がありました。道路の修繕などについて予算が取りづらいなど難しい状況が続いており、あわせて工事単価も右肩上がりです。修繕計画に則り、皆さんに不安がないよう対応していきたいと考えています。まずは我々ができること、そして市民の皆さんと一緒に何ができるか、これからも考えてまいりたいと思っています。（武田市長）	道路課	市回答のとおり	

9	地域懇談	今年班長になり、自治会費の回収の際に家の場所がわからず数件のお家を訪ねてみましたが、皆さんインターホンで応えて顔を見せてくれませんでした。コロナの影響により行事ができず、近所の人と関わることもありませんでした。やさしさに包まれたまちにするには、顔を見て関わり、みんなで滝沢をつくっていくことが大切だと思います。	自治会でも行事などを開催できず、難しい部分もあったと思います。地域内の人と人との関わりや地域づくりの部分は今後一緒に考えていきたいです。(武田市長)	企画政策課	市回答のとおり	
10	地域懇談	この数年八幡平市などで、外国資本が土地を買いそこで外国人を働かせるようなことをやっているようです。滝沢市も気を付けなければならないと思います。今後、都市計画などについても影響を受けないために土地規制など対応して、滝沢市を守っていただきたいです。	滝沢市には都市計画区域があり、滝沢ニュータウンは市街化区域で、そのまわりを市街化調整区域で囲んでおります。市街化区域は建物を建てられますが、調整区域では建物を建てることを規制する形になっています。また、農業振興地域という農地を守る法律もあります。しかし、売買の部分までは把握しきれないというのが現状です。ある条件を満たす売買であれば国土法の許可が必要ですが、小さく分けて売られると把握が難しい部分もあります。いずれ目的に合った使い方については、市でしっかりと対応していきたいと考えております。(長内都市整備部長)	都市政策課 水道整備課	市回答のとおり	
11	地域懇談	滝沢ニュータウンも高齢化が大変進んでおります。一人暮らしの老人の方、高齢者の方、その見守りが必要だと思います。民生委員をしていて見守りを頑張っているところと取り組んでおりますが、とても手が足りない状況です。そこで、市としてはどのような方法でやさしさに包まれた滝沢の実現を目指していくのか教えてください。	本当に難しい問題だと思っています。あわせて、民生委員になる方も少なく、欠員を生じている状況でもあります。現在、高齢者支援に関して、地区の見直しを行っています。北部については法人の方々にやっていただいております。北部以外の部分を、三つのエリアに分けて、市で対応する部分、法人の方々にお願いする部分など、どのように進めていくか検討中です。まず地域の皆さんの不安に寄り添って進めていきたいと考えています。そして民生委員の皆さんの活動を市民の皆さんにお知らせすることも地域の安全安心に繋がると 생각합니다。地域の皆さんでどのような声掛けができるかなど、前向きな状況を作れるようにこれからも考えていきます。(武田市長)	地域包括支援センター	市では高齢者の方の身体状況や生活状況等を把握するため、実態把握訪問を実施しております。また、民生委員さんをはじめとして、地域の方や見守り協定を締結している民間企業の方などと協力しながら見守りを行っているところです。今後も地域の皆さまの支援を通じて、見守りのネットワークを広げていくことで困りごとの早期発見と対応を行ってまいりたいと思います。	
12	地域懇談	以前はゴミ収集車が一定の時間に来ていましたが、最近は時間がまばらになりゴミ掃除の当番の方も困っています。担当の方とお話しましたが塚が明かず、その上司の方にも契約上できませんと言われました。別の方とも話して、最終的には多少対応していただくことになりました。今回の件を踏まえて、職員の方は住民目線で物事を理解していただきたいと思います。市役所目線ではなく住民目線で問題に対応してほしいです。	大変ご迷惑おかけしました。おっしゃった通り、住民の皆さまの目線で考えることは大切で、今回は状況をお伝えすることに注視しすぎてしまい、伝わらなかった部分もあったかと思っております。今後も丁寧に説明するよう徹底してまいりたいと思います。(岡田副市長)	滝沢・零石環境組合 総務課	【滝沢・零石環境組合】市回答のとおり 【総務課】この度の担当課職員の対応につきまして、心よりお詫び申し上げます。市民に寄り添い対話をし、丁寧な対応を心掛けるよう職員の育成に努めてまいりたいと思います。	
13	地域懇談	中心市街地を開発中ですが、滝沢らしさがなく、よくある商業施設のような感じがします。そこにアウトレットを導入するのはどうでしょうか。冬寒いところにはアウトレットは導入しないとの話もありましたが北海道にはアウトレットがあります。アウトレットがあれば滝沢だけでなく、周辺の市町村、あるいは県内の業者なども呼び込めると思います。	市が全て開発、区画整理するのであれば企業に要望はできますが、ダイナステージが開発事業者で民間開発しています。民間と民間の契約ということもあり、市の方からもよくあるショッピングモールと同じだと滝沢らしくないという申し出はしておりますが、開発事業者の採算性や物価の影響で、お金を出してもここに来たいという事業者は限られてくることもあります。市のコンセプトは「結のまち滝沢」ということで、食や健康、買う、子育てのこの四つのコンセプトは必ず守るよう伝えていきますので、それに沿った事業者を選定する約束をしています。やはり最終的には民間開発ということになりますが、今のご意見もお伝えしたいと思っております。(長内都市整備部長)	都市政策課	市回答のとおり	

14	地域懇談	防災無線が全く聞こえません。防災無線ばかりでなく、地域でイベントを行う際にスピーカーを使っており非常に便利ですが、大変苦勞している状態です。来ていただいて、防災無線が聞こえるか確認をお願いします。	周りの状況を確認させていただきながら、検討させていただければと思います。（岡田副市長）	防災防犯課	防災行政無線の新設については、予算や既存のスピーカーとの関係もあるため、今後も検討してまいります。放送内容については、担当職員が現地確認しましたが聞き取れるものと判断しましたが、滝沢NAVI、いわてモバイルメール、電話応答サービスの利用周知を図ってまいります。	
15	地域懇談	毎月広報が届きますが、お金をかけすぎていると思います。チラシはベラベラですが、広報は立派な用紙にカラー印刷で経費の無駄遣いだと思います。また、以前は広報に綴るための穴が開いていましたが今はなくなり、保存のしようがなく新聞紙と一緒にゴミに出す状況です。みんな今はスマホで情報を見られるので、厚紙にカラー印刷など豪華にしなくてもいいと思います。	ご意見ありがとうございます。広報につきましては市政について市民の皆さんにお伝えする大切なツールだと思っております。LINEやさまざまなインターネットツールでホームページを見ていただいている方もいらっしゃると思います。LINEで滝沢市を友達登録していただくと、デジタル回覧板や広報を発信しております。限られた経費の中で、どのような形で市民の皆さんにお伝えしていくか、今後検討してまいりたいと思います。（佐藤企画総務部長）	たきざわ魅力発信推進室	市回答のとおり	
16	地域懇談	総合計画で何を目指していくのか、はっきりしていません。今後進捗があったときには市民に知らせるべきだと思います。	本日は総合計画に関してご意見を頂戴したいということで開催しております。小学生、中学生、高校生、大学生、働く世代や各種団体、そして自治会の皆さんとこれまでお話をさせていただきました。そして今後この総合計画がしっかりと形になりましたら知らせたいと思います。まずは計画の策定を進めながら地域づくりの計画や8年後の目指す姿を、今後お知らせしていきたいと思っています。（武田市長）	企画政策課	市回答のとおり	